H-GIS 研究会

地域の「時空間の知」

（2014 年 1 月 18 日開催）

報告書

京都大学地域研究統合情報センター
地域情報学プロジェクト
個別ユニット「地域に関する時空間基盤情報の収集・蓄積」

はじめに

本報告書は、京都大学地域研究統合情報センター（以下、地域研）地域情報学プロジェクト 個別ユニット「地域に関する時空間基盤情報の収集・蓄積」の活動の一環として 2014 年 1 月 18 日に地域研で開催された研究会「地域の「時空間の知」」の概要をまとめたものである。

本個別ユニットは、さまざまな地域や時代およびテーマに関する時空間の基盤情報を集めるための技術的な課題や収集から蓄積・提供までの運用上の課題を検討し、『地域の知』を時間軸や空間軸に沿って比較・検証するための共通の足場を構築しようとするものである。

今回の研究会では、地名や暦など、地域や時代ごとに異なる時間や空間の表現方法やその仕組みに着目し、これを「時空間の知」としていくつかの地域の事例を取り上げた。このような「時空間の知」が時空間の基盤情報とともに多くの地域や時代について整備が進むことで、情報の可視化や解析だけでなく、地域や時代の垣根を超えたデータの構築や研究が進むことが期待される。

関野 樹

目次

報告１ …… 1
地域の「時空間の知」
関野 樹（総合地球環境学研究所）

報告２ …… 25
ベトナムの「時空間の知」
柳澤雅之（京都大学地域研究統合情報センター）

報告３ …… 33
マレーシア・インドネシアにおける「時空間の知」
山本博之（京都大学地域研究統合情報センター）

報告４ …… 41
タイにおける歴史・地名資料と暦について
星川圭介（京都大学地域研究統合情報センター）

地域の「時空間の知」

関野 樹（総合地球環境学研究所）

１．地域の「時空間の知」の必要性

時空間情報について、HuTime/HuMap をはじめとする情報解析ツールや地名辞書などの基盤情報の整備が進められてきた。これらの活用事例も徐々に増えてきている一方で、実際の研究現場では、時空間に関してそれぞれの地域や時代に固有の知識が必要になることも明らかになってきた。地名や日付の表現方法など、研究者の主たる地域や時代の研究対象であれば意識されないことであるが、これを地域間や時代間で比較しようとすると、それぞれの地域や時代に固有の知識が無いと適切に時空間情報を読み取ることができない。

例として、異なる地域で異なる言語により作成された資料に記載されている日付を比較することを考えてみる（スライド参照）。これらはいずれも 19 世紀に出現したドナティ彗星に関する記述で、日本の資料（安政戊午仲秋聞書）には「八月十六日」の日付が、米国での観測記録には「1858 Sept 28」の日付が記載されている。これらの日付の前後関係を比較するために、日本の資料の日付をグレゴリオ暦に変換しようとすると、

・年が安政戊午であり、「安政」は元号、「戊午」は干支で示された年であること

・月は「八月」、日は「十六日」で、それぞれ 8 番目の月、16 番目の日であること（漢数字が読めること）

・当時採用している暦法が天保暦であること

といったことを知らなければ、暦変換の機能があってもどのように数値を当てはめれば良いのか分からない。同様に米国の資料についても、

・年、月、日の順番で並んでおり、「Sept」は 9 番目の月であること

・米国は当時グレゴリオ暦を採用していること（英国と関連諸国では 1752 年より）

などが分かっていることが前提となる。

こういった知識は、資料を読み解く段階だけでなく、資料収集のような研究初期の段階でも必要なものでもあり、自身の研究をほかの地域や時代に広げようとすればたちまち問題になってくることである。こうしたそれぞれの地域や時代に固有の時空間に関する知識を「地域の時空間の知」として集めて提供することができれば、地域や時代にまたがった研究、特にその初動段階を効率化できると考えられる。

２．必要な知識

では、実際の「地域の時空間の知」はどのようなものだろうか。ここでは、それぞれの地域や時代の時空間情報を読み取る際に前提となる知識と、基盤情報などの所在情報に関する知識に分けて整理してみる。

（１）前提となる知識

前提となる知識には、時空間情報の仕組みや構造に関するものと、それらの表現方法に関するものの２つが考えられる。前者は、地名の階層性や暦法に関するもの、後者はそれらを記述するために用いられる文字やその順序などに関するものである。

○仕組みと構造

空間情報

地名では、一般に国、県、市町村などの行政区分が用いられるが、この区分が国や時代によって異なることはよく知られている。たとえば、減殺の日本では大きい階層から都道府県 → 市町村 → 区（政令指定都市など） → 大字 → 小字などとなるが、中国では省、米国では州などの階層もある。また、時代間比較を考えれば、日本でも明治より前は、国や藩などの現代とは異なる行政区分がある。こうした知識が無いと、たとえば県レベルのデータを他の地域と比較しようとする場合に、比較対象のどの行政単位が県レベルに相当するのかが分からない。また、単純に国の下の階層であれば、中国や米国ではそれぞれ省や州かもしれないが、面積や人口などが同程度のものとすれば、中国の県（省の下）や米国の郡（州の下/ County）が適切かもしれない。さらに、現在注目している階層の上位、下位を見たい場合に何を探せばいいのかといったことも必要になってくる。

これ以外にも、関東地方、京阪神、などの慣例的に用いられる区分もある。行政区分以外でも、宗教、職業などに応じた地理的な区分などが存在し、それぞれ地名と紐づいていることがある。また、日本では郵便番号が地名に代わる場所の識別子としても有用であり、国によっては市町村コードなどが同様に識別子として利用できる場合もある。こういった地名の階層や場所を特定する方法についての知識が空間情報を扱う上での前提としてそれぞれの時代や地域で必要になる。

緯度経度などの座標も時代や地域、目的によって異なるものが使われている。日本を例にとると、一般には緯度経度が用いられるが、地籍などでは平面直角座標系が用いられている。また、仕組みとして緯度経度は 2 つの数字で構成されるが、平面直角座標系や UTM では系番号やゾーンを含めた 3 つの数値で構成される。このような構成要素の数もあらかじめ知らないと、データ収集時に必要な数字を取りこぼす可能性がある。さらに、これらも座標も、測地系の変更や地殻変動などにより改正が繰り返されている。正しく用いるためには、それぞれの地域でそれらがどのような変遷をたどっているかという知識と、手元のデータがどのような基準に沿ったものであるかを把握しておく必要がある。

時間情報

現代では多くの国でグレゴリオ暦に基づく日付が採用されている。しかしながら、歴史的には国や地域によって採用されてきた暦法はさまざまである。日本での例をあげれば、

明治 5 年までは太陰太陽暦が用いられていた。ただ、現代の日本でも祭礼などではこの太陰太陽暦に準じたいわゆる「旧暦」が用いられる場合がある。このように目的に応じて異なる暦法が用いられることは多く、イスラム教の断食月、中国の正月（春節）、ロシアのクリスマスなどは現在でも古来の暦に基づいて日が決められている。

また日本では、西暦年と元号を伴う和暦年が使われているのは周知のとおりである。海外でもタイの仏暦や台湾の民国紀元、さらに、戦前の日本で用いられた神武天皇紀元（皇紀）など、月日を決める暦法としてはグレゴリオ暦を用いて行っても年は異なる方法による例はほかにも見受けられる。

いつ、何に対してどのような暦法が用いられるのかは、時間情報を扱う上であらかじめ知っておくべき知識に該当するであろう。

○表現方法

空間情報

地名では主に表記の揺れなどに関する知識が必要になる。たとえば、日本の地名を読み取ることを考えた場合、同じ地名が漢字、ひらがな、カタカナで表現されること、また、ローマ字で表現される場合も異なる表現方法が存在していることを知っている必要がある。このほかにも、地名に付随して用いられる方角、距離などの表現に関する知識が場所を特定する場合に必要になると考えられる。

時間情報

日付については、表現するための構成要素（年月日など）とそれらが表記される順序がそれぞれの地域や時代に応じた知識として必要になる。多くの場合、日付は年、月、日で表現されるが、元号など別の構成要素が加わる場合がある。日本の日付を読み取ることを例にすると、まず、元号があり、それらにも南朝・北朝や私年号などのバリエーションが存在することがあらかじめ知っておくべき知識になる。そして、一般的には元号、年、月、日の順番で表現されること。さらに、現代の日本では年月日は数字で表現されるが、時代を遡れば、年や日が干支で表現されたり月が月名（睦月、如月、・・・）で表現されたりすることも日本の日付を読み取る場合に知っておく必要がある。こうしたそれぞれの地域や時代で表現方法を知識とし利活用する仕組みを持つことにより、日付の解釈や基盤データの利用が適切に進むと考えられる。

（２）基盤情報の所在に関する知識

地名辞書、地図、暦など、時空間情報を扱う上での基盤情報は、可視化や解析に欠かせないものであり、地域や時代に応じた基盤情報がどこで入手できるのかという所在情報を共有することは、新たな地域や時代に研究を広げるにあたって有用な知識となるだろう。また、これらの情報は、それぞれの研究のデータや研究成果の基盤を共通化し、それらの

共有化を推し進めるという意味でも重要である。

地名

地名を共通の座標に置き換える機能などをどこで提供しているかという情報である。現代地名については、これを緯度経度に変換するための仕組みが Google をはじめとして数多く提供されている。一方、歴史地名では、文献資料に頼らざるを得ない場合が多い。国内での例をあげれば、歴史地名に関する地名事典が複数出版されており、代表的なものでは『日本歴史地名体系』（平凡社）や『角川日本地名大辞典』（角川書店）など。また、古いものでは吉田東伍著『大日本地名辞書』（冨山房）があり、H-GIS 研究会などにより検索機能が提供されている。

地図

基盤地図としてどのようなものが手に入るのか、また、電子版は利用できるのかといった情報である。国内を例にすると、現代の基盤地図は国土交通省・国土地理院で作成されており、多くが Web ページ上の地図閲覧サービスで利用可能であること。また、明治から戦前までは基盤地図は陸軍陸地測量部によるものだが、これらの多くも国土地理院で謄本を入手できること。さらに近世以前の古地図についてはいくつかの機関が所蔵しており、それぞれの Web ページから閲覧や画像のダウンロードが可能な場合があることなどが所在情報として共有されるべき知識になるであろう。

日付

単純に計算式に基づいて暦を変換するだけであれば変換サービスを提供している Web ページが少なからずある。しかしながら、暦は何らかの理由で計算結果と異なる運用をする場合が少なくないため、実際の資料（史料）と突き合わせるためには、それぞれの時代や地域で施行された日付に関する情報が必要である。日本での例をあげると、このような運用も含めてユリウス/グレゴリオ暦との対応を記述したものに内田正男編著『日本暦日原典第四版』（雄山閣）などがある。こういった資料の有無に関する情報が時間情報を扱う上で必要である。

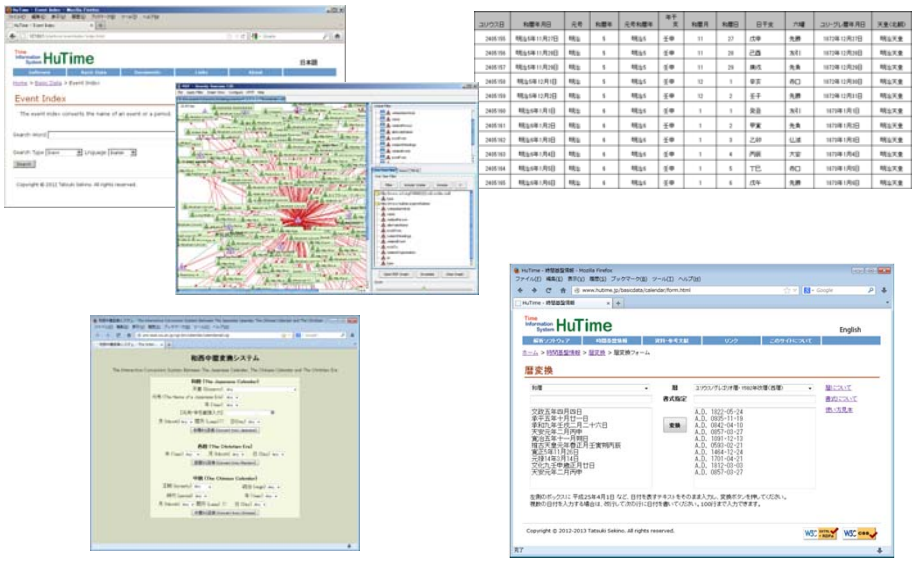
３．今後の課題

ここでは、「地域の時空間の知」について、その内容の整理しながらその必要性を確認した。今後、これらの収集・提供を実際に進めようとした場合は、まずどのようにこれら集めるのかが最初の課題となろう。どの地域を扱うのか（国単位だけでなく、国の一部や国をまたいだ範囲も想定が必要）、研究者のインセンティブ、特に実際の研究とどのように連動させるのか、どの程度の精度が必要なのかなどの検討が必要であり、今後の議論に期待したい。

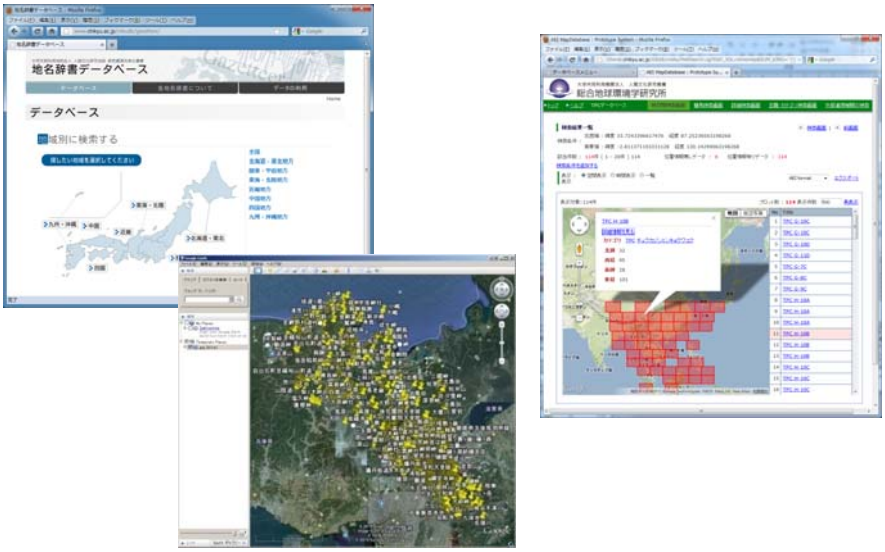
地域の「時空間の知」

総合地球環境学研究所
関野 樹

これまでのH-GISの活動から



これまでのH-GISの活動から



これまでのH-GISの活動から

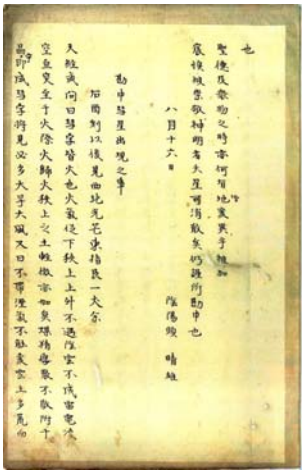
時空間の基盤データ

空間
- 地名
- 座標（緯度経度）
- 基盤地図

時間
- 暦
- 時間名
- 基盤年表

基盤データだけあればそれを使えるのか？

暦に関する知識が必要な例



日本での出現記録

勘申彗星出現之事
安倍晴雄著『安政戊午仲秋聞書』
http://library.nao.ac.jp/kichou/open/009/index.html

ドナティ彗星 (C/1858 L1)

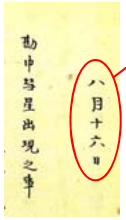
Kometa Donati nad pařížským ostrovem Ile de Cité s Justičním palácem a Conciergerií 5. října 1858 (z desky v The World of Comets 1877, Amedée Guillemin)

http://www.komety.cz/article.php3?sid=259

ハーバードでの観測記録

The page from Bond's observing notebook at the Great Refractor at Harvard.
http://www.komety.cz/article.php3?sid=259

暦に関して必要な知識



八月十六日

月、日の表現を知っていること
漢数字が読めること

年号：安政　年：戊午　月：8　日：16

年号を伴っていること
「安政」が年号であること

「戊午」が
干支による年であること

安政戊午
書名『安政戊午仲秋聞書』より

和暦（天保暦）であること

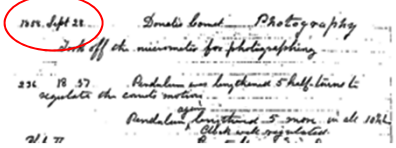
1858-09-22

1858-09-28

年月日の表現の順序を知っていること
Sept が9番目の月であること

1858 Sept 28 → 年：1858 月：9 日：28

米国がグレゴリオ暦を用いてること



暦に関して必要な知識

日付の表記に関する知識
- 年月日の表現順序や区切り文字
- 使用される文字
- 月などの名前や略称
- 特定の日を表す用語

暦そのものに関する知識
- どの地域、どの時代に
  どの暦が使われたか？
- 暦の運用方法の違い

暦同士の関係に関する知識
- それぞれの暦を基準の暦に置き換える方法
  （暦変換）

データの入出力に関する知識
- データ入出力の仕様
- 材料からのデータの抽出方法

単に
- ・データを集めただけ
- ・データベースを作っただけ　　では使えない

➡ **扱うための知識が伴う必要がある**

時空間の基盤データ　＋　扱うための知識　＝「時空間の知」

www.hutime.org　7　HuTime

時空間の知

データ以外にどのような知識が必要か？

（1）前提となる基礎知識　どのデータを見ればいいのか？
- ・行政区分（階層）
- ・市町村の統廃合
- ・測地系、座標系
- ・日付の要素（元号の有無）
- ・何にどのような暦が使われるか

（2）情報源や所在に関する知識　どこに行けばデータがあるのか？
- ・機関、研究者
- ・資料、Web上のサービス

（3）データを利用するための知識　どうやってデータを使うのか？
- ・表記の揺れ
- ・表記の方法
  （「京都」では市か府か分からない）
- ・表現の方法
  （年月日の順序）
- ・日や月の名称
  （元旦、師走など）

www.hutime.org　8　HuTime

当座の目標

何ができればいいのか？

「時空間の知」を使って・・・

- ・文書・資料、データの解読、解釈
- ・データを地図上、年表上に表現する
- ・異なる時代や地域、異なる出典のデータを連携させる

検討事項

どのような知識が必要か？

- ・前提となる基礎知識
- ・情報源や所在に関する知識
- ・データを利用するための知識

どのように提供するのか？

- ・論文、報告書、資料集などとして
- ・データベース化
- ・基盤データの提供の仕組みに埋め込む

それぞれ何があるのか？
他にはあるか？

前提となる基礎知識

基礎知識の例ー地名に関して

行政地名とその階層構造

日本（現代）の例

地方　都道府県　郡　市　特別区　町・村　区　大字　小字

日本（過去）の例

道、国、州、藩など

郷、里など

いつ、どのように切り替わったのか？

その他考慮すべき例

京都の学区のようなもの
宗教や職業などに関連した区分け

その他必要な知識

方角の表現	京都の上がる、下がる　など
距離や面積の単位	日本の坪や反など
国外の場所の呼称	南蛮、支那、暹羅
地名に代わるもの	郵便番号など

www.hutime.org　11　HuTime

基礎知識の例ー座標に関して

使われている座標系（現代）

平面の座標
・緯度経度
・平面直角座標系　地籍などでの利用

高さの座標
・東京湾平均海面からの高さ

その他の座標
・地心直交座標系

座標系の改正

地殻変動などにより原点の値が改正される
官報に掲載される

主な改正

・明治25年	最初の値	
・大正7年9月19日	経度の再決定	経度
・大正12年以降	関東大震災による地殻変動	原方位と水準原点
・平成14年4月1日	世界測地系への移行	緯度経度
・平成23年10月21日	東日本大震災による地殻変動	緯度経度と水準原点

www.hutime.org　12　HuTime

日本の時空間原点

- **緯経度原点**
  （東経139度44分28.8869秒　北緯35度39分29.1572秒）
- **原方位**
  （緯経度原点→つくば超長基線電波干渉計観測点　30度20分46.209秒）
- **水準原点**
  （東京湾平均海面上　24.3900m）
- **日本標準時**
  （協定世界時 ＋ 9時間00分）

www.hutime.org　13　Time Information System HuTime

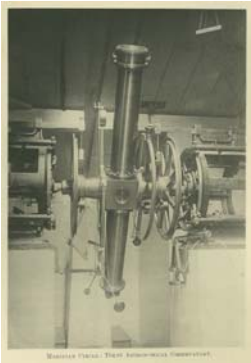
緯経度原点

東経139度44分28.8869秒
北緯35度39分29.1572秒　2011年10月21日改訂

所在地　東京都港区麻布台二丁目18番1

www.hutime.org　14　Time Information System HuTime

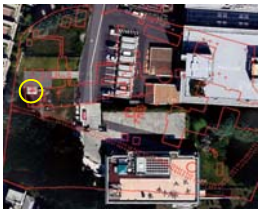
緯経度原点



レプソルド子午環
（この機器が設置されていた場所が現在の緯経度原点）
「東京天文臺年報第二册第一號」より

◉文部省告示第拾号
自今在東京市麻布区飯倉町東京天文臺太子午儀ノ中心ノ経度ノ値トシテ正ノ
百三十九度四十分四十秒九ヲ採用ス
本邦ニ於ケル経度ハ自今前項ノ値ニ據リ之ヲ定メルモノトス
大正七年九月十九日
文部大臣　岡田良平
海軍大臣　加藤友三郎
陸軍大臣　大島健一

大正7年9月19日の官報告示（経度修正）と経度の観測経路
「大日本帝国海軍 水路部報告 第壹册」より



当時の天文台の構内配置
黄色の丸が現在の緯経度原点
佐藤（1943）/ Google Maps

クロノメータ
（経度の決定に用いられる）
国立天文台蔵

余談：伊能図での緯度経度

緯度　現代と同じ

経度　京都の天文台が原点
（現在の御前御池あたりか？）

慶応4年（1868年）の古地図
京都市：「フィールド・ミュージアム京都」より

原方位

緯経度原点 から
つくば超長基線電波干渉計観測点 への方位
30度20分46.209秒

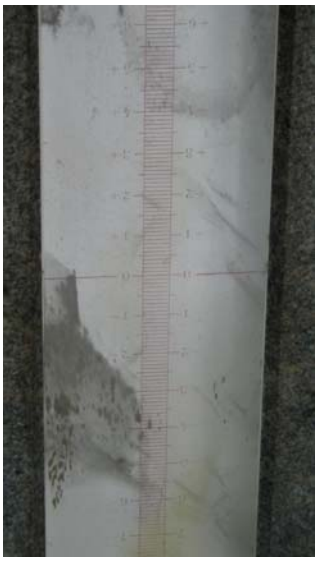
2011年10月21日改訂

所在地　東京都港区麻布台二丁目18番1
茨城県つくば市北郷1番
建設省国土地理院内

Google Mapsより

www.hutime.org　17　HuTime

水準原点



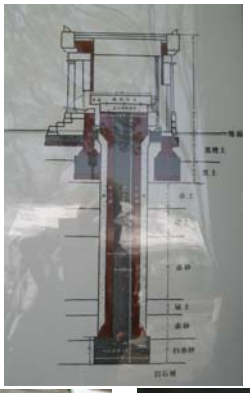
東京湾平均海面上　24.3900m

2011年10月21日改訂

東京都千代田区永田町1-1-2

www.hutime.org　18　HuTime

水準原点



油壷検潮所
東京湾平均海面を観測している場所

水準原点の構造

基礎知識の例ー地図

現代の地図

基盤地図

- 明治以降
- 国土地理院による2万5千分の1, 5万分の1, 20万分の1がある
- 地域によって、1万分の1などがある
- 電子版が利用できる

その他の地図

- 地籍図（法務局）
- 地方自治体が大縮尺の地図を持っている場合がある
- 住宅地図（ゼンリンなどの民間業者）

基礎知識の例ー日付

日本の日付

元号

・元号、年、月、日で表現
・北朝・南朝で異なる時期がある
・私年号や中国の年号が利用されることがある

暦法

・明治5年まで太陰太陽暦を採用
・明治6年からグレゴリオ暦
・度々改暦を繰り返す
・元嘉暦～宣明暦は中国の暦法
・現代でも、神事などではいわゆる「旧暦」を使う場合がある

元嘉暦（げんかれき）	？～？	
儀鳳暦（ぎほうれき）	？～天平宝字七年	
大衍暦（たいえんれき）	天平宝字八年～天安元年	（94年間）
五紀暦（ごきれき）	天安元年～貞観三年	（4年間）
宣明暦（せんみょうれき）	貞観四年～貞享元年	（823年間）
貞享暦（じょうきょうれき）	貞享二年～宝暦四年	（70年間）
宝暦暦（ほうりゃくれき）	宝暦五年～寛政九年	（43年間）
寛政暦（かんせいれき）	寛政十年～天保十四年	（46年間）
天保暦（てんぽうれき）	天保十五年～明治五年	（29年間）

日付の基準点（標準時子午線）

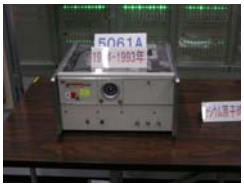
・？～天保暦は京都の天文台（伊能図で「中度」となっている経度）
・明治6年～26年、いったん東京に移る（東京天守臺）
・明治27年から、東経135度

www.hutime.org 21 HuTime

日本標準時

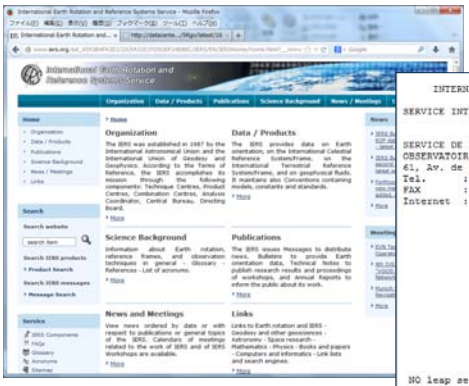
UTC +09:00

東京都小金井市貫井北町4-2-1
情報通信研究機構内



www.hutime.org 22 HuTime

余談：IERS（国際地球回転・基準系事業）



INTERNATIONAL EARTH ROTATION AND REFERENCE SYSTEMS SERVICE (IERS)

SERVICE INTERNATIONAL DE LA ROTATION TERRESTRE ET DES SYSTEMES DE REFERENCE

SERVICE DE LA ROTATION TERRESTRE
OBSERVATOIRE DE PARIS
61, Av. de l'Observatoire 75014 PARIS (France)
Tel. : 33 (0) 1 40 51 22 29
FAX : 33 (0) 1 40 51 22 91
Internet : services.iers@obspm.fr

Paris, 16 January 2014

Bulletin C 47

To authorities responsible
for the measurement and
distribution of time

INFORMATION ON UTC - TAI

NO leap second will be introduced at the end of June 2014.
The difference between Coordinated Universal Time UTC and the International Atomic Time TAI is :

from 2012 July 1, 0h UTC, until further notice : UTC-TAI = -35 s

Leap seconds can be introduced in UTC at the end of the months of December or June, depending on the evolution of UT1-TAI. Bulletin C is mailed every six months, either to announce a time step in UTC, or to confirm that there will be no time step at the next possible date.

Daniel GAMBIS
Director
Earth Orientation Center of IERS
Observatoire de Paris, France

今年7月の閏秒は「なし」とのこと

2014年1月16日付

www.hutime.org 23 Time Information System HuTime

日本標準時

標準時子午線（GPS表示）と
その場所から見た明石市立天文科学館（矢印）
（世界測地系移行により場所が異なっている）

（上）標準電波の監視装置
（下）電話時報サービスの送出装置

www.hutime.org 24 Time Information System HuTime

基礎知識の例

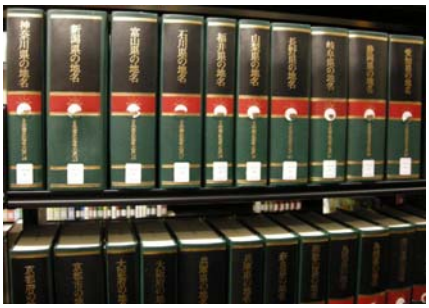
用語の訳

地図	map	地图
緯度	latitude	纬度
経度	longitude	经度
地名辞書	gazetteer	地名词典
日付	date	日期
暦法	calendar	历法
年	year	年

・データを見るときに必要
・これだけでも分かれば、Googleなどで資料を検索できる可能性もある

情報源や所在に関する知識

地名に関する資料



日本歴史地名大系（平凡社）

20万件 インターネット版もあり

角川日本地名大辞典

25万件　電子版あり

www.hutime.org 27 HuTime

地名に関する資料

吉田東伍：大日本地名辞書

金井弘夫：地名レッドデータブック

8万件　陸測図がベース

www.hutime.org 28 HuTime

地名に関する資料

国土交通省
データのダウンロード

Google Maps API

地図の所在

国土地理院の地図閲覧サービス
（現代の地図のみ）

国土地理院の図暦のページ
（明治以降の地図は謄本が入手可能）

古地図・絵図

所蔵機関

・国土地理院
・国会図書館
・国立公文書館
・東京国立博物館
・国際日本文化研究センター
など多数あり

www.hutime.org 31

Time Information System HuTime

日付に関する情報

過去の日付に関する情報

暦日編（天長4年～同6年） *141*

年号 歳の干支 1年の日数	月	月の大小	朔日の干支	定朔 大余 小余	ユリウス暦 年 月 日	中気 No. 大余 小余	節気 No. 大余 小余
天長4年 丁未 355日	1	小	癸亥	59-1181	827 1 31	(4)15-2406	(3) 0-1741
	2	大	壬辰[1]	28-2846	827 3 1[1]	(6)46- 694	(5)31- 30
	3	大	壬戌	58-1628	827 3 31	(8)16-2023	(7) 1-1359
	4	小	壬辰	28- 460	827 4 30	(10)47- 311	(9)31-2687
	5	大	辛酉	57-2377	827 5 29	(12)17-1640	(11) 2- 976
	6	小	辛卯	27-1192	827 6 28	(14)47-2969	(13)32-2304
	7	大	庚申[2]	56-2974	827 7 27[2]	(16)18-1257	(15) 3- 593
	8	大	庚寅	26-1672	827 8 26	(18)48-2586	(17)33-1921
	9	小	庚申	56- 255	827 9 25	(20)19- 874	(19) 4- 210
	10	大	己丑	25-1731	827 10 24	(22)49-2203	(21)34-1539
	11	小	己未	55- 124	827 11 23	(0)20- 492	(23) 4-2867
	12	大	戊子	24-1551	827 12 22	(2)50-1820	(1)35-1156
同 5年 戊申 384日	1	大	戊午[3]	53-2901	828 1 20[3]	(4)21- 109	(3) 5-2484
	2	小	戊子[4]	23-1209	828 2 19[4]	(6)51-1437	(5)36- 773
	3	小	丁巳[5]	52-2600	828 3 19[5]	(8)21-2766	(7) 6-2102
	閏3	小	丙戌	22-1061	828 4 18		(9)37- 390
	4	大	乙卯	51-2716	828 5 17	(10)52-1054	(11) 7-1719
	5	大	乙酉	21-1375	828 6 16	(12)22-2383	(13)38- 7
	6	小	乙卯	51- 174	828 7 16	(14)53- 672	(15) 8-1336
	7	大	甲申	20-2162	828 8 14	(16)23-2000	(17)38-2664
	8	大	甲寅	50-1076	828 9 13	(18)54- 289	(19) 9- 953
	9	小	甲申[6]	19-2980	828 10 12[6]	(20)24-1617	(21)39-2282
	10	大	癸丑	49-1731	828 11 11	(22)54-2946	(23)10- 570
	11	小	癸未	19- 366	828 12 11	(0)25-1235	(1)40-1899
	12	大	壬子	48-1942	829 1 9	(2)55-2563	(3)11- 187
同 6年 己酉 354日	1	小	壬午	18- 188	829 2 8	(4)26- 852	(5)41-1516
	2	小	辛亥	47-1331	829 3 9	(6)56-2180	(7)11-2845
	3	大	庚辰	16-2502	829 4 7	(8)27- 469	(9)42-1133
	4	小	庚戌	46- 686	829 5 7	(10)57-1797	(11)12-2462
	5	大	己卯	15-2026	829 6 5	(12)28- 86	(13)43- 750
	6	小	己酉	45- 500	829 7 5	(14)58-1415	(15)13-2079
	7	大	戊寅	14-2274	829 8 3	(16)28-2743	
	8	大	戊申	44-1264	829 9 2	(18)59-1032	(17)44- 367
	9	小	戊寅	14- 383	829 10 2	(20)29-2360	(19)14-1696
	10	大	丁未	43-2509	829 10 31	(22) 0- 649	(21)44-3025
	11	大	丁丑	13-1560	829 11 30	(0)30-1978	(23)15-1313
	12	小	丁未	43- 503	829 12 30	(2) 1- 266	(1)45-2642

1）小余2846であるから進朔して癸巳の可能性が強い。2月癸巳朔ならそのユリウス暦日は3月2日となる。
2）小余2974だから進朔して57辛酉の可能性が強い。7月辛酉朔なら 〃 は7月28日 〃
3）計算では53丁巳であるが、紀略に戊午朔とある。したがって正月朔のユリウス暦日は1月21日となる。
4） 〃 23丁亥 〃 、 〃 戊子 〃 。 〃 2月〃 〃 2月20日 〃
5）計算では52丙辰であるが、紀略によれば2月戊子朔、閏3月丙戌朔であるから3月朔は丁巳以外にない。したがって3月朔のユリウス暦日は3月20日となる。
6）計算は19癸未であるが類聚国史歳時4、重陽の条より甲申朔、9月甲申朔ならそのユリウス暦日は10月13日となる。
現行太陽暦（グレゴリオ暦）＝ユリウス暦＋4日

年号 歳の干支 1年の日数	月	月の大小	朔日の干支	定朔 大余 小余	ユリウス暦 年 月 日	中気 No. 大余 小余	節気 No. 大余 小余
天長4年 丁未 355日	1	小	癸亥	59-1181	827 1 31	(4)15-2406	(3) 0-1741
	2	大	壬辰[1]	28-2846	827 3 1[1]	(6)46- 694	(5)31- 30
	3	大	壬戌	58-1628	827 3 31	(8)16-2023	(7) 1-1359
	4	小	壬辰	28- 460	827 4 30	(10)47- 311	(9)31-2687

1）小余2846であるから進朔して癸巳の可能性が強い。2月癸巳朔ならそのユリウス暦日は3月2日となる。

内田正男編著
『日本暦日原典 第四版』
雄山閣

www.hutime.org 32

Time Information System HuTime

日付に関する情報

暦に関する情報の所在、関連機関等

・国立天文台
・伊勢神宮（神宮司庁）
・海上保安庁海洋情報部（旧水路部）

・国立公文書館
・国会図書館（http://www.ndl.go.jp/koyomi/）

暦に関する資料など（現代）

・暦要項（毎年2月1日に翌年の二十四節季などが官報に掲載される）
・神宮暦（「旧暦」の情報）

www.hutime.org 33 HuTime

データを利用するための知識

www.hutime.org 34 HuTime

地名ー日本の場合

表記

・日本語の場合は、漢字、ひらがな、カタカナで表現される
・漢字の場合は、旧字や異体字が存在する
・ひらがな、カタカナでは仮名遣いが異なる場合がある
・複数のローマ字の表現方法が存在し、混在している

その他

・異なる場所で同じ名称の地名が存在する
・異なる階層で同じ名所を用いる場合がある（京都府/京都市）

www.hutime.org 35 HuTime

日付の表現

順序

年号・年・月・日の順に並ぶ
（略されることはあっても順序が変わることはまずない）

表現

年号の表現
・旧字や異体字が存在する
・明治以降は、M, T, S, Hで表現される場合がある
・略されることがある：明, 大, 昭, 平

年の表現
・算用数字・漢数字または干支
・1年は元年、初年とする場合がある
・西暦年が付される場合があるが、和暦の年に合わせた表現である場合がある
・皇紀が用いられる場合がある

月の表現
・算用数字・漢数字または月名
・月名は時代や資料によって指している月が異なる場合がある

日の表現
・算用数字・漢数字または干支
・1日は朔日、月の末日は晦日で表現される場合がある
・年の初日は元旦、元日、年の最終日は大晦日

www.hutime.org 36 HuTime

日付文字列の解釈ー書式指定

日付文字列の書式指定

書式指定子と任意の文字の組み合わせて指定

4ケタの年の指定子　2ケタの月の指定子　2ケタの日の指定子

ISO8601形式の場合　**yyyy-MM-dd**

区切り文字

和暦

数字、干支、月名などに対応

（例）
- yK　一, 元, …, 一〇, 十, …, 二〇, 二十, 廿, …, 三〇, 三十, 卅
- MJ　睦月, 如月, 弥生, …, 霜月, 師走
- dK　一, 朔, …, 一〇, 十, …, 二〇, 二十, 廿, …, 三〇, 三十, 卅, …, 晦
- dE　甲子, 乙丑, 丙寅, 丁卯, …, 壬戌, 庚亥

ワイルドカードの適用

gg*ya*Ma*da*

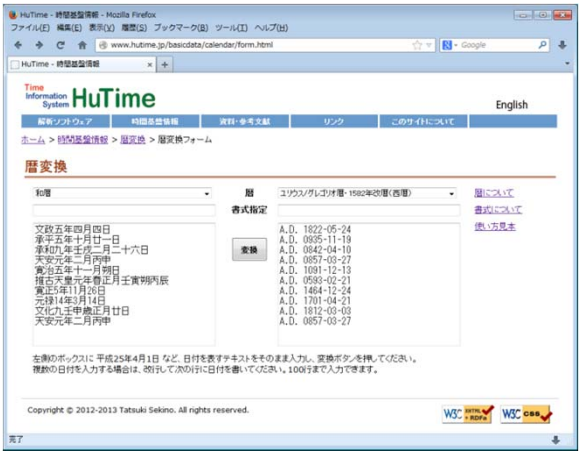
平成二五年一二月一三日　平成25年12月13日

平成廿五年十二月十三日　平成25/12/13

平成癸巳師走癸丑

暦変換サービスの提供

暦変換フォーム　HuTime　検索



http://www.hutime.jp/basicdata/calendar/form.html

既定の書式

和暦

（入力）　gg*ya*Ma*da*
gg*ya*Ma*朔da*

（出力）　ggy年MMM月d日

ユリウス／グレゴリオ暦（西暦）

（入力）　gg*Y-M-d
ya*Ma*da*

（出力）　gg YYYY-MM-dd

入力方法

改行で区切って複数のデータを入力可能

総合討論に向けて

当座の目標

何ができればいいのか？

「時空間の知」を使って・・・

- ・文書・資料、データの解読、解釈
- ・データを地図上、年表上に表現する
- ・異なる時代や地域、異なる出典のデータを連携させる

検討事項

どのような知識が必要か？

- ・前提となる基礎知識
- ・情報源や所在に関する知識
- ・データを利用するための知識

どのように提供するのか？

- ・論文、報告書、資料集などとして
- ・データベース化
- ・基盤データの提供の仕組みに埋め込む

それぞれ何があるのか？
他にはあるか？

ベトナムの「時空間の知」

柳澤雅之
京都大学地域研究統合情報センター

はじめに

時空間上に情報を載せ分析するための基盤整備を進めるために、ベトナムに固有の時空間に関する基盤情報を概説する。

1. 時間情報

1.1. 暦

陽暦と陰暦の両方が使われる。一般に、都市部も農村も、日常生活は陽暦に従う。

しかし、陽暦のみで生活が成り立っているわけではない。例えば、正月は陽暦ではなく、陰暦に従う。また、祭りや儀礼の日時も旧暦に従う。中秋の祝いは、旧暦 8 月 15 日に行われる。また、2007 年には、旧暦 3 月 10 日を雄王の命日とし国民の休日が設定された。このように、日常生活の中に、陽暦と陰暦は両方、意識されている。

特に農村部では、農作業の履歴など、陰暦に従うことが多い。

ベトナムの陰暦は、中国の農暦とは必ずしも一致しない独自の陰暦であり、歴史上も、中国の暦に近いが必ずしも同一ではないとされる。特に 1976 年以降はベトナムで独自の計算に基づいた暦であることが強調される（Ho Ngoc Duc 2014）。

1.2. 時間の表記方法

日本と逆の表記で、Ngay 20, thang 1, nam 2014 が 2014 年 1 月 20 日を表すように、日/月/年の順番に記載される。

1.3. 国史の存在

東南アジアの中で史料が例外的に豊富なベトナムは、歴史研究も大変盛ん。

2. 空間情報

2.1. 基盤となる地図情報

地形図は 5 万分の一（全土）や 25 万分の一（全土）、50 万分の一（全土）など、縮尺の異なる地形図を利用できる。5 万分の一地形図と 25 万分の一地形図は、1960-70 年代に柵際された地図に加えて、1990 年代以降に作成された新しい地図も利用可能で、後者は、村

の位置や道路など、比較的、現在の状態を良好に表している。

その他、さまざまなアトラスも利用可能。ただし、デジタル化された資料を入手するには、出版社等に交渉する必要がある。

行政区分を記した白地図も入手可能。行政の最末端の単位である社のバウンダリーが記載された白地図を利用可能。

2.2. ベトナムの行政単位の基本は、省（tinh）-県（huyen）-社（xa）である。2009 年全国センサスに基づいた社の情報がデータベース化されている。

2.3. 地名表記

行政区分は、頻繁に変わる。近年では、1945 年の独立以降、1970 年代の合作社が合併縮小した時期、1990 年代になっての行政区分の変更時に、全国の多くのところで行政区分の変更があった。その都度、行政区分の変更を記した報告者が作成されている。

3. その他

3.1. 面積の単位

基本的な面積の単位はメートル法だが、農村部では、従来からの、mau（3600 ㎡）、sao（360 ㎡）、thuoc（24 ㎡）が使われる。ただし、地域差があるので、注意する必要がある。

参考文献

Ho Ngoc Duc. 2014. “Âm lịch Việt Nam qua các thời kỳ lịch sử”（歴史時代の中のベトナムの陰暦） http://www.informatik.uni-leipzig.de/~duc/amlich/

HGIS研究会 地域の「時空間の知」
2014年1月18日（土）13時30分～17時00分
京都大学 地域研究統合情報センター

ベトナムの「時空間の知」

柳澤雅之
京都大学地域研究統合情報センター

ベトナムに固有の知識（基盤情報）

時間情報

1. どこでどのような暦が使われているのか
2. 日付や時間の表記方法
3. 主な出来事を記した国史などの存在の有無

空間情報

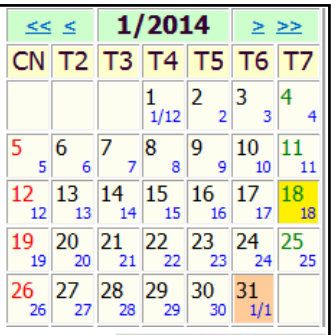
1. 基盤となる地図の整備状況や入手方法
2. 地名の一覧や表記の方法（表記の揺れなども含めて）

時間情報

1. どこでどのような暦が使われているのか

陽暦と陰暦

- 中国の農暦とは必ずしも一致しない独自の陰暦。歴史上、中国の暦に近いが必ずしも同一ではないとされる。特に1976年以降は異なることが強調。
- 農村部は陰暦で農作業が行われる。正月は旧暦に従うが、その他は陽暦。祭り・儀礼は旧暦に従う（中秋＝旧暦8月15日）。
- 旧暦3月10日を雄王の命日とし国民の休日となった（2007年）



http://www.informatik.uni-leipzig.de/~duc/amlich/

ベトナムの元号（970年～1945年）

天德（大德）544年－548年	天符睿武 1120年	大定 1369年	洪順 1509年	洪福 1572年	景盛 1793年－1801
丁朝	天符慶寿 1127年	紹慶 1370年	光紹 1516年	嘉泰 1573年－1577年	宝興 1801年－1802
太平 970年－980年	天順（大順）1128年	隆慶 1373年	統元 1522年	光興 1578年－1599年	**阮朝**
前黎朝	天彰宝嗣 1133年	昌符 1377年	**莫朝**	慎德 1600年	嘉隆 1802年－1819
天福 980年－988年	紹明 1138年	光泰 1388年	明德 1527年－1529年	弘定 1600年－1618年	明命 1820年－1840
興統 989年－993年	大定 1140年	建新 1398年	大正 1530年－1540年	永祚 1619年－1629年	紹治 1841年－1847
応天 994年－1007年	政隆宝応 1163年	**胡朝**	広和 1541年－1546年	德隆 1629年－1635年	嗣德 1848年－1883
景瑞 1008年－1009年	天感至宝 1174年	聖元 1400年	永定 1547年	陽和 1635年－1643年	協和－1884年を元
李朝	貞符（宝符）1176年	紹成（紹聖）1401年	景暦（景歴）1548年－1553年	福泰 1643年－1649年	建福 1884年
順天 1010年－1028年	天資嘉瑞 1186年	開大 1403年	光宝 1554年－1561年	慶德 1649年－1653年	咸宜 1885年1月－9
天成（德成）1028年	天嘉宝祐 1202年	**後陳朝**	淳福 1562年－1566年	盛德 1653年－1658年	同慶 1885年（旧暦1
通瑞 1034年	治平龍応 1205年	興慶 1407年－1409年	崇康 1566年－1578年	永寿 1658年－1662年	成泰 1889年－1907
乾符有道 1039年	建嘉 1211年	重光 1409年－1414年	延成 1578年－1585年	万慶 1662年	維新 1907年－1916
明道 1042年	天彰有道 1224年	（属明期: 1414年－1426年）	端泰 1586年－1587年	景治 1663年－1672年	啓定 1916年－1925
天感聖武 1044年	**陳朝**	天慶 1426年－1428年	興治 1588年－1590年	陽德 1672年－1674年	保大 1926年－1945
崇興大宝 1049年	建中 1225年	**前期黎朝**	洪寧 1591年－1592年	德元 1674年－1676年	
龍瑞太平 1054年	天応政平 1232年	順天 1428年	武安 1592年－1593年	永治 1676年－1680年	
彰聖嘉慶 1059年	元豊 1251年	紹平 1434年	1592年11月莫朝滅亡、以降は地	正和 1680年－1705年	
龍彰天嗣 1066年	紹隆 1258年	大宝 1440年	宝定 1592年	永盛 1705年－1720年	
天既宝象（天祝宝象）1068年	宝符 1273年	大和（太和）1443年	康佑（康祐）1593年	保泰 1720年－1729年	
神武 1069年	紹宝 1279年	延寧 1454年	乾統 1593年－1625年	永慶 1729年－1732年	
太寧（泰寧）1072年	重興 1285年	天興（天与）1459年	（隆泰 1618年－1625年）	龍德 1732年－1735年	
英武昭勝（英武昭聖）1076年	興隆 1293年	光順 1460年	順德 1638年－1677年	永佑（永祐）1735年－1740年	
広祐（広佑）1085年	大慶 1314年	洪德 1470年	**後期黎朝**	景興 1740年－1786年	
会豊 1092年	開泰 1324年	景統 1498年	元和 1533年－1548年	昭統 1787年	
龍符（龍符元化、乾符）1101年	開祐 1329年	泰貞 1504年	順平 1549年－1556年	**西山朝**	
会祥大慶 1110年	紹豊 1341年	端慶 1505年	天祐（天佑）1557年	泰德 1778年－1788年	
天符睿武 1120年	大治（太治）1358年		正治 1558年－1571年	光中 1788年－1792年	

Wikipedia「元号一覧（ベトナム）」より編集

時間情報

2. 日付や時間の表記方法
日/月/年
Ngay 18, thang 1, nam 2014（2014年1月18日）
Luc 7gio 30 buon sang (午前7時30分)

ベトナム農業新聞の2014年1月17日付記事より
http://nongnghiep.vn/nongnghiepvn/68/bnn.aspx

時間情報

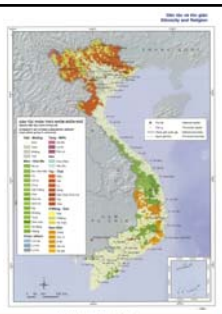
3. 主な出来事を記した国史などの存在

- 東南アジアの中では史料が豊富で、歴史研究が盛ん
- 多数の歴史書あり

空間情報

1. 基盤となる地図の整備状況や入手方法

- 地形図（デジタル1/5万、一部デジタル＋紙1/25万、紙1/50万など、地域研、CSEAS）
- その他アトラス（紙媒体）
- 行政区分図（紙＋デジタル）



vn-district-shp.dbf	2002/12/28 13:23	DBF ファイル	770 KB
vn-district-shp.sbn	2002/12/28 13:23	SBN ファイル	12 KB
vn-district-shp.sbx	2002/12/28 13:23	SBX ファイル	1 KB
vn-district-shp.shp	2002/12/28 13:23	SHP ファイル	7,377 KB
vn-district-shp.shx	2002/12/28 13:23	SHX ファイル	5 KB
vn-province.dbf	2003/05/09 12:15	DBF ファイル	7 KB
vn-province.sbn	2003/05/09 12:15	SBN ファイル	1 KB
vn-province.sbx	2003/05/09 12:15	SBX ファイル	1 KB
vn-province.shp	2003/05/09 12:15	SHP ファイル	2,999 KB
vn-province.shx	2003/05/09 12:15	SHX ファイル	1 KB
vn-river.dbf	2002/12/07 23:41	DBF ファイル	21,517 KB
vn-river.shp	2002/12/07 23:41	SHP ファイル	41,099 KB
vn-river.shx	2002/12/07 23:41	SHX ファイル	1,688 KB
vn-village.dbf	2002/12/07 15:04	DBF ファイル	1,981 KB
vn-village.shp	2002/12/07 15:04	SHP ファイル	24,496 KB
vn-village.shx	2002/12/07 15:04	SHX ファイル	82 KB

空間情報

2. 地名の一覧や表記の方法（表記の揺れ含む）

- 行政単位：国（nuoc）-省(tinh)-県(huyen)-社(xa)が基本。その下に集落・村（xom, thon, ap）
- 村落の位置と名称リスト（表参照）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	Mã số Tỉnh	Mã số Huyện	Mã số Xã	Tên đơn vị hành chính	Diện tích tự nhiên	Dân số	Toạ độ điểm trung tâm (Vĩ độ, Kinh độ)	Văn bản pháp lý thành lập hoặc điều chỉnh địa giới HC tham chiếu	Tổng số đơn vị HC cấp xã	Số xã	Số phường	Số thị trấn
2	01	01	01	THÀNH PHỐ HÀ NỘI	334,470	6,232,940		19(2009)NQ-CP	577	401	154	22
3	01	001	001	Quận Ba Đình	1,000	198,116	21 02 08N, 105 49 38E	69/1995/CP	14	-	14	-
4	01	001	00001	Phường Phúc Xá	92	15,767	21 02 52N, 105 50 52E			-	1	-
5	01	001	00004	Phường Trúc Bạch	52	11,361	21 02 50N, 105 50 21E			-	1	-
6	01	001	00006	Phường Vĩnh Phúc	74	15,743	21 02 37N, 105 48 28E	02/2005/NĐ-CP		-	1	-
7	01	001	00007	Phường Cống Vị	52	14,786	21 02 08N, 105 48 28E	02/2005/NĐ-CP		-	1	-
8	01	001	00008	Phường Liễu Giai	73	18,641	21 02 21N, 105 48 56E			-	1	-
9	01	001	00010	Phường Nguyễn Trung Trực	16	8,659	21 02 36N, 105 50 43E			-	1	-
10	01	001	00013	Phường Quán Thánh	77	10,643	21 02 26N, 105 50 23E			-	1	-
11	01	001	00016	Phường Ngọc Hà	80	16,774	21 02 24N, 105 49 23E	02/2005/NĐ-CP		-	1	-
12	01	001	00019	Phường Điện Biên	94	10,552	21 02 04N, 105 50 07E			-	1	-
13	01	001	00022	Phường Đội Cấn	62	14,830	21 02 10N, 105 49 31E			-	1	-
14	01	001	00025	Phường Ngọc Khánh	104	24,395	21 01 52N, 105 48 27E	02/2005/NĐ-CP		-	1	-
15	01	001	00028	Phường Kim Mã	48	14,579	21 01 53N, 105 49 20E			-	1	-
16	01	001	00031	Phường Giảng Võ	40	16,013	21 01 42N, 105 48 58E			-	1	-
17	01	001	00034	Phường Thành Công	64	21,001	21 01 17N, 105 48 50E			-	1	-
18	01	002	002	Quận Hoàn Kiếm	536	165,080	21 01 53N, 105 51 09E		18	-	18	-
19	01	002	00037	Phường Phúc Tân	79	14,199	21 02 17N, 105 51018E			-	1	-

ベトナム村落地名リスト（2009年12月31日）

空間情報

2. 地名の一覧や表記の方法（表記の揺れ含む）

- 表記の揺れ

⇒『ベトナム行政地名・境界の変化（1945-2022年）。省・県ごとの報告書でも明記

ネット上でも境界の地図あり

http://bando.tnmtnamdinh.gov.vn/map.phtml?me=565562,2257083,574014,2261304

マレーシア・インドネシアにおける「時空間の知」

山本博之

０．はじめに

「地域の知」を時空間に位置づけることを考える上で肝心なのは、地域研究は、(1)歴史・文化などの人文系、(2)政治・経済などの社会系、(3)生態・環境などの自然系など、さまざまな専門と関心を持つ研究から成り立っていることであり、一口に地域研究者といっても専門と関心によって地域情報の捉え方や扱い方が大きく異なる点である。地域研究は対象地域について多角的に総合的に捉えようとするが、そこにアプローチするための専門性や関心は、学生時代の訓練内容やその後の研究経歴に大きく影響を受ける。ここでは、地域研究のうち歴史・文化を中心に政治・経済にも関心を持ち、最近になって災害対応に関心を持つようになった立場から、地域研究の基盤情報について考えてみたい。

イスラム教権東南アジア

島嶼部東南アジア（海域東南アジア）はイスラム教圏東南アジアとも呼ばれ、東南アジアのうちイスラム教が社会において大きな影響力を持つ地域である。現在の国名で言えば、規模の大きな順に、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ブルネイの 4 か国、そして国の一部であるがタイ南部、さらにフィリピン南部も含まれる。ただし、この地域の住民がすべてイスラム教徒であるとは限らず、多民族・多言語・多宗教の社会となっている。

国別ではなく州別、県・市別に

世間では外国を国別に捉えるのが一般的であることもあり、多くの場合、地域研究者も自分の研究対象地域を国別に説明することが多いが、実際の関心と研究は国内の特定の地域（たとえば州や県）にあることも少なくない。マレーシアやインドネシアでは地方自治が進んでおり、地方ごとに新聞を持ち、地方政府や地方の大学・研究機関が編纂する地方史があることもある。また、耕地の広さなど、州ごとに独自の度量衡の単位が使われているところもある。そのため、地域研究の基盤情報を収集・整備するには、国ごとではなく地域ごとに行い、それを連結していくのがよいのではないか。

地図・地名一覧は入手しやすくなった

地図は入手しやすくなった。また、位置情報つきの地名リストは、日本が戦時中に発行した資料もあるし、現在ではインターネット上で公開されているものもある。ただし、村・集落レベルのリストがなかったり、現在の地名と変わっていたりするなどして、現在そのまま使えるとは限らない。地域研究者は、調査の過程で地図を入手し、地名リストを作成し、基礎年表を作り、

官民の複数のソースを重ねる

政府などの公的機関が出したものには権威があるが、民間団体や個人が出したものは権威がなく、間違いがあるかもしれない。唯一のものを定めてそれにあわせるという発想ではなく、複数の基準を並べるしかないこともある。そうしないと現地社会で活用できないことになり、研究上の活用ができなくなる。複数の基準が並んでいる状況を示し、

外国人研究者が関わる意義

現地の研究者に聞けばよいというわけでもない。マレーシアを例に取ると、マレー人はマレー人社会の、華人は華人社会の、インド人はインド人社会のことについて知っていても、他民族のことはあまり知らないし、もし知っていても、自分たちの文化慣習について他民族に語られることを良しとしない人たちも多いため、それを積極的に語ろうとはしないことが考えられる。その意味では、外国人研究が仲介役になって情報基盤の整備をすることには積極的な意味があるように思われる。

１．マレーシア・サバ州の基盤情報

サバ州の地方紙

関心・専門によって何を基盤情報と捉えるかは異なるが、相対的に多くの人に利用可能な情報として地元紙の記事一覧がある。マレーシアのサバ州を例に取れば以下のようになる。（紙名、刊行期間、所蔵状況）

・『英領北ボルネオ・ヘラルド』（1883.3-1941.1）［PDF 版、2.91GB］
・『北ボルネオ・ニュース』（1952.1-1958.12）［マイクロフィルム］
・『北ボルネオ・ニュース＆サバ・タイムズ』（1958.7-1994.12）［PDF 版、41.6GB］
・『デイリー・エクスプレス』（1963.7-1994.12）［PDF 版、43.5GB］

マレーシアの雑誌

マレーシア全国を対象とする雑誌として、以下のものがある。

・『カラム』（1950.7-1969.10）［PDF 版、4.15GB］

マレーシアの学術誌

学術誌としては以下のものなどがある。

・『Akademika』（国民大学、1976-）
・『Kajian Malaysia』（理科大学、1983-）
・『Borneo Research Bulletin』（ボルネオ・リサーチ・カウンシル、1969-）

２．マレー語の綴り

マレーシア語とインドネシア語

イスラム教圏東南アジアは、どの国も多民族・多言語であるとともに、国民の共通語を用いている。インドネシアではインドネシア語、マレーシアではマレーシア語が国民の共通語である。インドネシア語もマレーシア語も、マレー語が国別に発展した同根の言葉であり、基本的な語彙や文法は共通しており、互いに意思疎通することができる。感覚的に言えば、両者の開きは日本の東京の言葉と関西の言葉の程度だと言える。

したがって、今日では、マレーシア語かインドネシア語のどちらかがわかれば、マレーシア、インドネシア、シンガポール、ブルネイ、そしてタイ南部やフィリピン南部の一部でもかなりの程度で会話が通じる。しかし、文字で書かれた文献を扱う場合には文字および綴りの変遷を理解することが重要となる。

ジャウィとローマ字

文字に関して。かつてインドネシア語とマレーシア語はジャウィ（アラビア文字表記のマレー語）で書かれていたが、20 世紀半ばまでにローマ字が主流になった。ジャウィからローマ字への翻字の法則は時代や地域や個人によって異なる。

20 世紀のマレーシア地域（マレーシアおよびシンガポール）で広く使われていたジャウィ綴りおよびそのローマ字への翻字については[山本 2002][1]に簡潔にまとめられており、また、同論文の参考文献一覧が参考になる。ローマ字翻字のいくつかのルールを挙げると以下のようになる。

・ジャウィは基本的にすべて子音で表現し、ｉとｅはｙ、ｏとｕはｗによって表現する。ａは母音文字で表現するか省略する。

・音節が CVC の場合、V が a なら省略する。例：nampak→nmpk

・二重母音（ai または au）では、ｉはｙ、ｕはｗと見て前項のルールを適用する。例：sampai→smpy

・CV-CVC でどちらの V もｕまたはｏの場合、後ろのＶを省略する。例：musuh→mwsh

旧綴りと新綴り／インドネシア綴りとマレーシア綴り

インドネシア地域はオランダ、マレーシア地域はイギリスの影響を受けてローマ字の正書法が作られた。1972 年にマレーシアとインドネシアの綴り字が統一され、それとともにマレーシアとインドネシアのそれぞれで以下のように旧綴りから新綴りに切り替えられた。

インドネシア旧綴り	マレーシア旧綴り	統一綴り
Tj	ch	c

[1] 山本博之 2002 「ジャウィ綴りマレー語の書き方と読み方：20 世紀のマレーシア地域を中心に」『上智アジア学』20 号。（http://ci.nii.ac.jp/naid/110000469701）

Dj	j	j
J	y	y
Nj	ny	ny
Sj	sh	sy
Ch	kh	kh
Oe	u	u

例えば、京大地域研の雑誌データベースの『ワクトゥ』は、当初は「Waktoe」という名前で刊行されていたが、後に「Waktu」になった。

1972 年以降は基本的に統一綴りに切り替えられていったが、特にインドネシアでは人名などの固有名詞で旧綴りを使っている人もいる。例えば、京大地域研の災害データベースの対象地域であるインドネシアのアチェ州は、現在の綴りでは「Aceh」だが、旧綴りでは「Atjeh」「Acheh」であり、現在でも「Atjeh」と書く人もいる。

３．暦

マレーシア・インドネシアの暦の種類

・西暦

なお、紀元前を BC（Before Christ）、紀元後 AD（Anno Domini）とするのはキリスト教的な表現であるとして、紀元後を CE（Common Era）、紀元前を BCE（Before Common Era）とする文献もある。BC-AD も CE-BCE も年号の数値は同じであり、AD2014 は CE2014 にあたる。

・イスラム暦

アラブ・中東のイスラム暦と同じ。ただし、東南アジア各国で月の入りと明けの統一の問題がある（後述）。

・ジャワ暦

イスラム暦と同じ。

・農暦

中国の農暦と同じ。

・ヒンドゥー暦

インドのヒンドゥー暦と同じ。なお、マレーシアではインド系住民の多数派はヒンドゥー教徒であり、これまでヒンドゥー教徒以外のインド系住民もヒンドゥー暦を受け入れてきたが、近年ではシク教徒のように独自の暦を求める動きもあるらしい。

マレーシアの標準時

1963 年のマレーシア結成時には、クアラルンプールがある半島部マレーシア（かつては

西マレーシアと呼ばれた）は UTC+07:30、ボルネオ島の東マレーシアは UTC+08:00 で、国内に 30 分の国内時差があった。1982 年 1 月 1 日の東マレーシア時間の午前零時に半島部マレーシアが東マレーシアに時刻を合わせ、UTC+08:00 をマレーシア全国の標準時として現在に至る。（このため、タイから南下すると、経度はほとんど変わっていないのにマレーシアに入ったところで 1 時間の時差が生じる。）

断食月の入りと明けの統一

・断食の入りと明けをどのように決めるかは、少なくとも記録に見られる限りでは数十年来の課題である。本来は日没後に月の様子を目視して月の入りと明けを決めていたが、曇りなどで目視できない場合に計算によって月の入りと明けを決めてもよいかどうか、あるいは目視できた別の街の決定に従ってよいかという論争が行われてきた。村内で意見が対立することも珍しくなかった。特に 1950 年代に入るとラジオ放送が発達し、かなり離れた地域の目視の結果が容易に知られるようになると、目視に従うべきか他地域の結果に従ってもよいかが論争の対象となった。
・1974 年、マレーシアの統治者会議が「断食入り及び断食明け決定委員会」（JMAPH）を設立し、国内の断食の入りと明けの日を決定する資料を統治者会議に提出させることにした。
・1989 年、JMAPH が全国イスラム暦技術委員会（JTTI）を設置し、ASEAN 諸国における断食月の入りと明けの統一に着手した。
・1991 年 3 月、マレーシア、インドネシア、ブルネイの宗教関係大臣の非公式会合において、断食月の入りと明けの統一が議題に上った。
・1992 年 7 月、ブルネイ、インドネシア、マレーシア、シンガポールが断食月の入りと開けを統一することで合意した。ただしインドネシアでは、ムスリム団体の違いにより、ムハマディヤはヒサブ（計算）、ナフダトゥル・ウラマーはルクヤ（目視）により月の入りと明けを決定するため、国内の統一問題は未解決のままとなった。

４．地名

東南アジアの緯度経度情報付きの地名一覧は、各機関や個人が作成して公開しているものがある。マレーシアに関しては、

・アメリカ国家地球空間情報局（National Geospatial-Intelligence Agency、NGA）が公開している地名一覧（http://earth-info.nga.mil/gns/html/namefiles.htm）。随時更新されている。2004 年 2 月の時点でマレーシアの地名は約 8 万 8000 件。
・南洋経済研究所『大南洋地名事典』（1942 年、全 5 巻、1986 年に 3 巻にまとめて復刻）に東南アジア各地の地名、緯度経度、主な産業などの紹介がある。
・地図から作成したもの。

５．むすび――「地域の知」に向けて

地域研究者といってもさまざまな専門性を持つ人がいるが、歴史学のバックグラウンドを持つ地域研究者は、地図や年表などの基盤情報を収集・作成することを厭わない傾向がある。ただし、デジタル化や共有化については技術がない人も少なくない。たとえば、地図、緯度経度付きの地名一覧、地元の主要な新聞・雑誌の 3 点セットを揃え、一定の書式に従ったエクセルファイルを作成すれば、収集した情報がパソコン上で表現され、しかもデータの検索も容易になるという仕組みを作れば、自分の研究対象地域に関するデータを作成して提供しようとする地域研究者は少なくないと予想される。これを全体で統合して横断検索する仕組みを作ることで、各地域の専門家である地域研究者が自発的に情報を登録する世界全体に関する基盤情報のデータベースができるのではないか。このようなデータベースは、情報技術を用いた「地域の知」の表現形態の 1 つとなるように思われる。

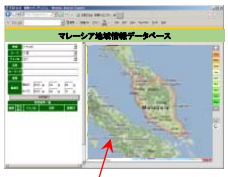
その上で必要となるのは、収集されたデータをもとに、それらをすべて読むことなく、そこからどのようにして全体像を把握するかという課題だろう。マレー・インドネシア語は単語が分かち書きされているために日本語の形態素解析のような手順は必要ではないが、接頭語・接尾語によって品詞や意味が変わるために特別な扱いが必要となる。ただしこれについては法則化されている。問題は内容をどのように把握し、表現するかであり、今後の研究課題である。テキストを読んで内容を分析する地域研究者はすでにいる。これに情報学によるテキストを読まない内容把握を並べて比較することで、テキストを読まずに内容を把握する方法が開かれるのではないか。そのような共同研究によってテキスト認識の可能性が開かれ、「地域の知」が形成されていくことに期待している。

マレーシア・インドネシアの知を時空間で捉えて「地域の知」へ

- 地図・新聞・研究者は州別に
- 地域ごとの関心に即したテーマ別に

インドネシア・アチェ州
災害
新聞・写真・証言集

マレーシア・半島部
イスラム
雑誌『カラム』



マレーシア・サバ州
通史・研究
新聞・官報・ジャーナル

島嶼部東南アジア

タイにおける歴史・地名資料と暦について

京都大学地域研究統合情報センター　星川圭介

史資料

「タイ」の「領域」は有史以来，20 世紀に至るまで大きく変化し続けており．タイの図書館や文書館の所蔵資料にも，現在ラオスやカンボジア領となっている地域に関連するものが多く含まれる．以下，タイの歴史を論じる際に用いられている資料を便宜的に「タイ史資料」と呼ぶことにする．

タイの史資料として代表的なのは一般に「年代記」と訳される「ポンサーワダーン（phongsawadan）」である．ポンサーワダーンは既存の史資料を収集・編纂した集成本で，アユッタヤーやラッタナコーシン王朝の歴史を記述した王朝年代記のほか，タイの歴史にまつわる資料を包括的に集成した「史料集成」ともいうべき「プラチュムポンサーワダーン」が存在する（石井 1964b; 1964c; 1965）．タイは 1960 年代まで商業出版が未発達であり，ポンサーワダーンをはじめとする重要な史料は，主に葬式などの仏教儀式の引き出物として配布される本（いわゆる葬式本）として刊行されてきた（石井 1964a）．現在では，葬式本の伝統自体は残るものの，プラチュムポンサーワダーンなど著名な史料はインターネット上でも公開され，容易に入手できるようになっている．

ラッタナコーシン王朝（1782 年～）の特に中期以降を対象とする歴史研究には，公文書や官報が資料として利用できる．5 世王治世以降の公文書についてはバンコクの国立公文書館において閲覧・複写が可能である（一部複写不可のものあり）．20 世紀初頭の公文書には時系列で書かれた地方農村の視察記録なども多く，当時の地方の風土や暮らしを知る貴重な手がかりとなる．官報については西暦 1858 年 3 月 15 日以降の発行分のうち，西暦 1884 年 12 月 28 日発行（刊行体制刷新後第 1 号）以降のすべてが政府の官報公開インターネットサイトで閲覧できる．

暦

タイで主に用いられてきた暦には，大暦，小暦（チュラ暦），ラッタナコーシン暦，そして仏暦がある．大暦は西暦 1～3 世紀ごろのインドの王朝に由来し，古い碑文の中に登場する．小暦はインドシナ半島で近年まで広く用いられた太陰暦で，概ね西暦年から 648 を差し引くと小暦年となる．小暦の 1 年は 12 もしくは 13 の月からなり，第 5 月上弦 1 日を元日とする．十二支と組み合わせて用いられることも多い．タイの公式の場では西暦 1889 年 3 月 31 日をもって廃止されたが，仏教行事の暦として現在も生活に根付いている．

ラッタナコーシン暦はラッタナコーシン王朝成立年（西暦 1781 年）を元年とする暦で，太陽暦導入に伴って西暦 1889 年 4 月 1 日より導入された．月日の数は西暦と同じであるが，元日は小暦に近い 4 月 1 日とされた．黄道十二星座に由来する現在の 12 月名の導入もこの

時である．

ラッタナコーシン暦は西暦 1911 年 3 月 31 日をもって廃止され，以後，ブッダ入滅の西暦紀元前 544 年（実際は特定されていない）を元年とする仏暦が現在に至るまで用いられている．ただし元日が現在と同じ 1 月 1 日に変更されたのは西暦 1940 年からであり，仏暦 2482 年（西暦 1939 年）は 9 か月間のみである．

小暦から西暦への変換は複雑であるが，ウェブ上に各種換算表や計算フォームが提供されている．一方ラッタナコーシン暦以降は単純に年数を加減（仏暦からは 543 を減ずる）するだけであるが，仏暦 2481 年までについては，1（やぎ座：モッガラー）月から 3（うお座：ミーナー）月の間であるかそれ以外かで，西暦換算時に加減する数が変わることに注意が必要である．

地名

タイでは，移入や自然増により人口が急増し始める 20 世紀初頭まで人口密度が希薄であり，特に 20 世紀前半に開拓移住が盛んに行われた．こうした歴史的背景により，バンコク等大都市の旧市街部を除く地域では，比較的新しい地名が多い．1910 年代から 30 年代ごろまでの地図では，地名の代わりに「開けた森」や「密生した森」などの記述が目立つ．

新聞などに事件が起きた地点が記載される場合，農村部であれば村落名，村落番号，行政区（タンボン）名，郡（アンプー）名の順（欧米と同じ方式）に記述され，地点の特定は比較的容易である．一方，バンコクでは地物や交差点名，路地名と区（ケート）のみ記述されることがしばしばで，そうした場合は地点の特定が難しい．2011 年の洪水の際には報道される冠水箇所が特定できないという苦情も多かったようで，政府による地図公開の不備を指摘する声も上がったが，報道における記述の不備にも問題があったように思われる．

ただしタイの地名データについては，官民両側において多くの蓄積がある．行政村落（日本の小字程度に相当）名については当然各省庁にリストがあり，内務省はその座標情報も有していると推察される．民間でも Garmin が ESRI Thailand と共同で販売するカーナビには路地や村落など相当詳細な地名が登録されており，ウェブ上の「Wikimapia」は google map API を利用した地名検索を提供している．

タイの最初の大縮尺地形図は 1910 年代から 40 年代ごろにかけての調査に基づく 1:5 万地形図であるが，これは中部と南部，東北部を中心にタイ国土の一部をカバーするに過ぎない．全国を網羅する最初の大縮尺地形図は，1954 年の航空写真に基づいてタイ軍地図局が作成した 1:5 万地形図で，「L708 シリーズ」として知られる．その後 1980 年代の「L7017」に続いて，現在最新のものとしては 2000 年以降に作成された「L7018」が販売されている．地形図以外の街路図や道路図は民間からも電子地図などが市販されており，特にバンコク市街図の電子地図は路地名まで記載された非常に詳細なものがある．

引用文献

石井米雄（1964a)タイ語文献について(1)：Nangsu Chaek nai Kan Kuson，東南アジア研究, 1(4): 2-12

石井米雄（1964b)タイ語文献について(2)：Phraratcha Phongsawadan Krung Kao，東南アジア研究, 2(1): 13-24

石井米雄（1964c)タイ語文献について(3)：Phraratcha Phongsawadan Krung Ratanakosin，東南アジア研究, 2(2): 67-80

石井米雄（1965)タイ語文献について(4)：諸地方の Phongsawadan，東南アジア研究, 2(4): 38-51

2014年1月18日H-GIS研究会

タイにおける歴史・地名資料と暦について

星川圭介

内容

- タイの歴史資料
- 暦の種類と資料の対応
- タイの地名事情
- 地名資料・データ

版図変遷の概略

1300年頃

1400年頃

トンブリー王朝からラッタナコーシン王朝

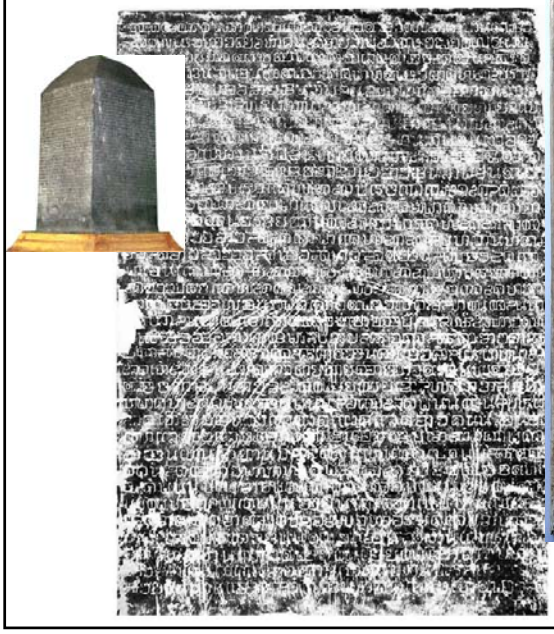
タイの歴史資料（1）媒体

タイの歴史資料の記録媒体

- 碑文ศิลาจารึก
- 貝多羅葉（貝葉）ใบลาน
  - ヤシの葉に鉄筆で文字を刻んだもの
- タイ式横型折本สมุดไทย หนังสือข่อย
  - 厚紙を屏風状に折り畳んだもの
- 西洋綴り本
- その他，レターヘッド付文書様式など

タイの歴史資料（1）媒体

碑文



碑文拓本？集

タイの歴史資料（1）媒体

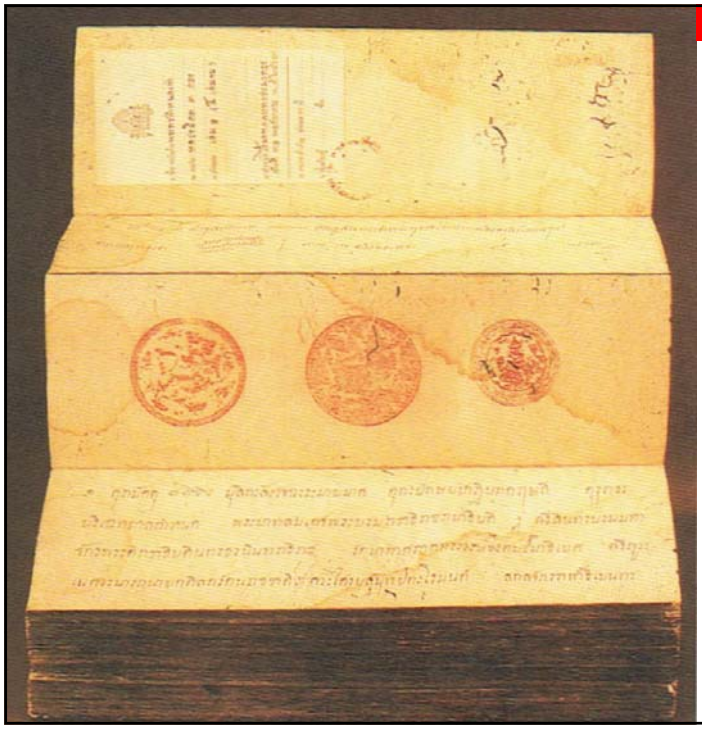
貝葉

- それほど長持ちしないので，写本をしながら受け継がれる.
- 現在，在地のものは主に仏教寺院において保管
- 地方の仏教大学にも
- 重要なものは国立図書館にて保存されている

タイの歴史資料（1）媒体

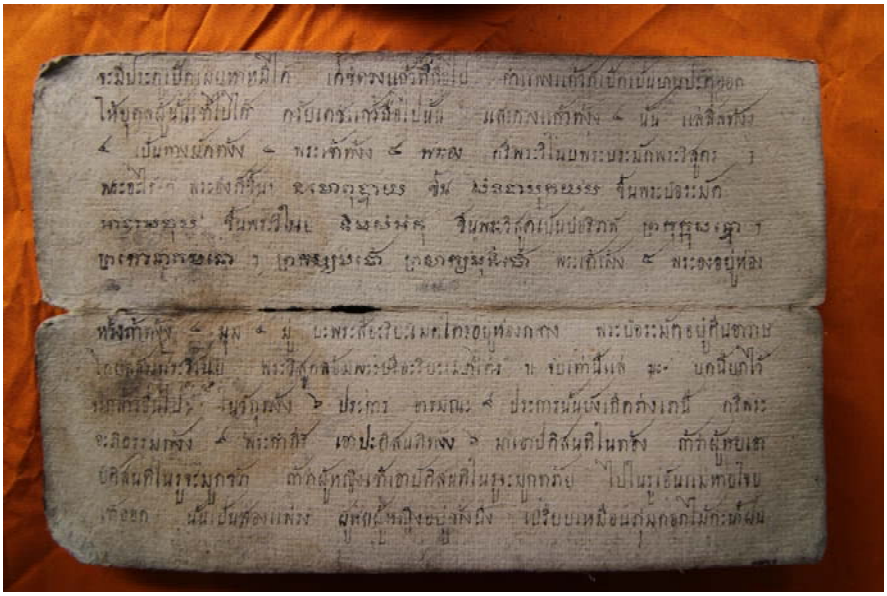
วัดเขียน ตำบลห้วยเหนือ อำเภอขุขันธ์ จังหวัดศรีสะเกษ

タイの歴史資料（1）媒体



タイ式横型折本の例
三印法典กฎหมายสามดวง

タイの歴史資料（1）媒体



仏教大学ブリラム支部所蔵

タイの歴史資料（2）刊行形態

タイの歴史資料の編纂・刊行形態

- 一次資料
  - 寺院文書，地方氏族文書，公文書，法文，新聞（1840～）
- 官報
- 年代記พงศาวดาร
  - 様々な資料（貝葉，口述，公文書等）の集成
  - 歴史，氏族の系譜，国・国王に関する記録
- 配布本หนังสือแจก
  - 仏教行事引き出物本（配布によって徳を積む）
  - 葬儀の際に配られるものが最も多い：「葬式本」
  - 年代記や貝葉本をはじめとする国立図書館収蔵資料の複製・復刻本もこれに含まれる
  - 石井（1964a)に詳しい

タイの歴史資料（3）年代記

年代記について

- 史料（年代記）集成
  - 石井（1965）に詳しい
- アユタヤ王朝年代記（ประราชพงศาวดารกรุงเก่า）
  - 石井（1964b）に詳しい.
- ラッタナコーシン王朝年代記
  - 石井（ 1964c）に詳しい.

タイの歴史資料（3）年代記

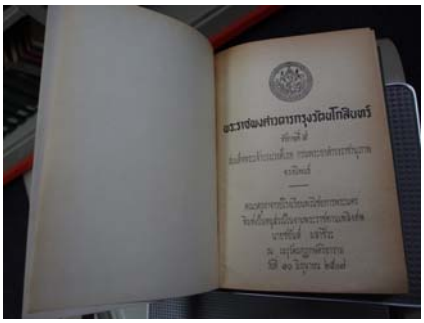
史料集成ประชุมพงศาวดาร

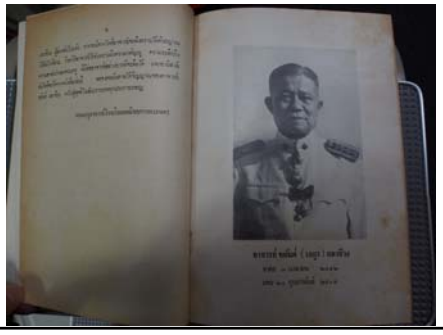
- 様々な文書を集成する形で編纂された地方史
- ダムロン親王が編纂を主導したといわれる.
- 全82巻
- 1914年に第1巻が葬式配布本として刊行された.
  - 国立図書館（芸術局）資料の複製として
  - 以後，刊行が続く
- 石井米雄コレクションにも含まれている.
- かなりの部分がインターネットで公開されている.
  http://th.wikisource.org/wiki/ประชุมพงศาวดาร

タイの歴史資料（3）年代記

石井米雄コレクションの「史料集成」

タイの歴史資料（3）年代記





タイの歴史資料（3）年代記

ネット通販でも・・・

タイの歴史資料（3）年代記

アユタヤ王朝年代記

- 17世紀
- ビルマ軍侵攻に伴う散逸
- トンブリー王朝下での収集・復元
- ラッタナコーシン王朝下での複数回の校訂
- 結果として複数の版が存在する.
- ルアン=プラサート版が広く採用されている.

タイの歴史資料（3）年代記

ラッタナコーシン王朝年代記

- 3世王の治世に原本の初版（1840年）
  - 1世王即位から10年間（～1792年）
- 5世王の治世（1868～）に本格的な編成作業
  - 1869年に編成開始
  - 1世王から4世王まで
  - 100巻
  - 1901年以降，ダムロン親王による批判的改定，出版

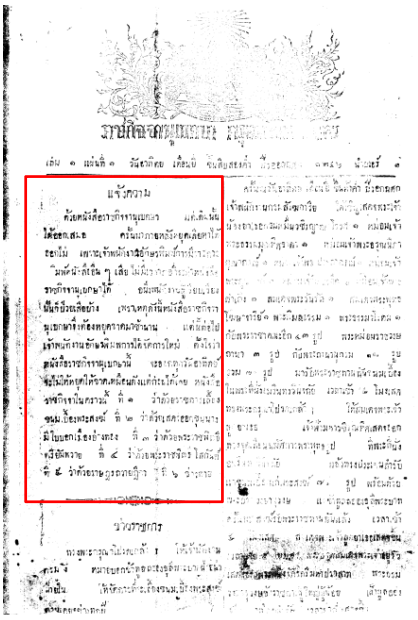
タイの歴史資料（3）官報

官報について

- 西暦1858年（仏暦2401年，小暦1219年）3月15日（4世王治世）に発行開始
- 西暦1884年（仏暦2427年）12月28日（小暦1246年第2月上弦12日）より発行体制改革．同日の官報を第1巻とする．
- 法律，行政命令の国民への公示
- 総理府が刊行
- 第1巻から最新巻までインターネットで閲覧（PDFをダウンロード）できるようになった
  http://www.ratchakitcha.soc.go.th/RKJ/index/index.htm
  - 検索が若干やりにくいが・・・

タイの歴史資料（3）官報

記念すべき官報（復刊）第1巻



小暦1246年第2月上弦12日1巻1頁

通告

- これまでも官報は発行されていたが，時代を下るにつれて，印刷職員の多忙・死去等により発行が滞っていた．
- 印刷職員の体制を新しく整えた．今後は今までのように休止することなく，毎日曜日に発行できるように注力する．

タイの歴史資料（3）公文書

公文書について

- ラーマ4世王まで
  - 国立図書館
- 公文書（ラーマ5世王以降）
  - 国立公文書館（国立図書館の隣）
  - 王室閣官房文書など重要な資料はマイクロフィルム化されている．
  - その他は原本を閲覧（傷みが激しい）
  - 複写依頼も可能

タイの歴史資料（3）公文書

公文書館所蔵文書

- 省庁から寄託された文書を収蔵
- 公文書を完全に網羅しているわけではない
  - 一種のコレクション
- 寄託後，公文書館職員が整理を行い，書類の塊ごとにIDとタイトルを振って目録を作成
  - 目録のまえがきに文書の由来などが記される.
- 同じ局からでも寄託時期の違いなどにより別目録に収録される.
- 利用者は目録から資料を探して受付で書庫からの取り出しを依頼する.

目録の例　農業省18　農民職業教育委員会

กส.18 คณะกรรมการจัดระบบอาชีพของราษฎร

19	โครงการขุดบ่อน้ำ สระน้ำ ขุดรอกหนองบึง กับจัดทำทำนบ และ เหมืองฝาย ตามคำของคณะกรรมก่ร จ.อ.ร.
	เล่ม6
29	โครงการจัดตั้งนิคมสร้างตนเอง ทางภาคตะวันออกเฉียงเหนือ ของกรมปรชาสงเคราะห์
30	โครงการช่วยเหลือการประกอบอาชีพภาคตะวันออกเฉียงเหนือ กรมปศุสัตว์
31	องค์การช่วยสงเคราะห์ทหารผ่านศึกขอส่งเจ้าหน้าที่ร่วมเดินทางไปปฏิบัติงานกับคณะกรรมการ
32	โครงการณ์บำรุงพันธุ์ปลาและส่งเสริมการเลี้ยงปลาในภาค3-4ของกรมประมง
33	งานวันเกิดพณฯ จอมพลผิน ปุณหะวัณ
34	งานศพหลวงพยุง เอชชศาสตร์ อธิบดีกรมอนามัย
35	โครงการและงบประมาณเกี่ยวกับการจัดระบบอาชีพของราษฎร จ.สกลนคร

タイの歴史資料（3）公文書

公文書の内容

- 省庁間のやり取り
  - 職員の待遇や処分
  - 法律
  - 政策の進言
  - 税金，地券，許認可
  - その他
- 地方行政府からの報告書
  - 職員の待遇や処分
  - 報告書（行政報告，調査報告，事件始末記）
  - 地方視察報告書
  - その他

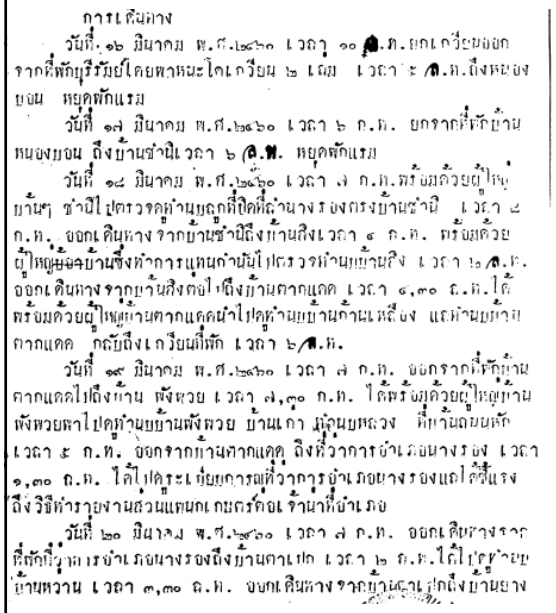
タイの歴史資料（3）公文書

地方視察報告書

- 1910年～1930年頃のものが多い.
  - 仏領インドシナ拡大（＝タイの失地）
  - 地方実効支配の必要性が高まる.
- 時系列で書かれたフィールドノートのようなものが多い.
- 当時の農村の様子を知る重要な手がかり.

タイの歴史資料（3）公文書

視察報告書



การเดินทาง

วันที่ ๑๖ มีนาคม พ.ศ.๒๔๖๐ เวลา ๑๐ ก.ท. ยกเกวียนออกจากที่พักบุรีรัมย์โดยพาหนะโคเกวียน ๒ เล่ม เวลา ๑ ก.ท.ถึงหนองบอน หยุดพักแรม

วันที่ ๑๗ มีนาคม พ.ศ.๒๔๖๐ เวลา ๖ ก.ท. ยกจากที่พักบ้านหนองบอน ถึงบ้านชำนิเวลา ๖ ก.พ. หยุดพักแรม

วันที่ ๑๘ มีนาคม พ.ศ.๒๔๖๐ เวลา ๗ ก.ท.พร้อมด้วยผู้ใหญ่บ้านๆ ชำนิไปตรวจดูทำนบถูกที่ปิดที่ลำนางรองตรงบ้านชำนิ เวลา ๘ ก.ท. ออกเดินทางจากบ้านชำนิถึงบ้านสิงเวลา ๙ ก.ท. พร้อมด้วยผู้ใหญ่บ้านซึ่งทำการแทนกำนันไปตรวจทำนบบ้านสิง เวลา ๑๐ ก.ท. ออกเดินทางจากบ้านสิงต่อไปถึงบ้านตากแดด เวลา ๑,๓๐ ก.ท.ได้พร้อมด้วยผู้ใหญ่บ้านตากแดดนำไปดูทำนบบ้านก้านเหลือง แล้วทำนบบ้านตากแดด กลับถึงเกวียนที่พัก เวลา ๖ ก.ท.

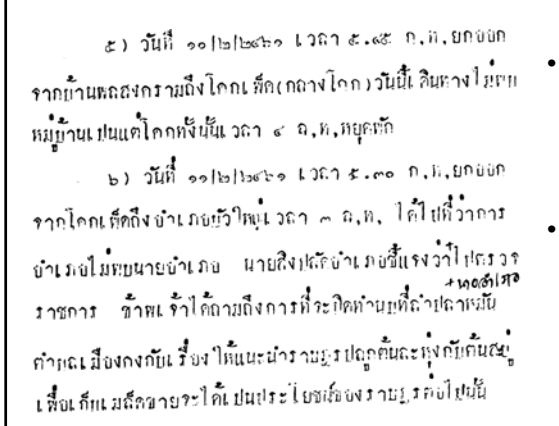
วันที่ ๑๙ มีนาคม พ.ศ.๒๔๖๐ เวลา ๗ ก.ท. ออกจากที่พักบ้านตากแดดไปถึงบ้าน พังพวย เวลา ๗,๓๐ ก.ท. ได้พร้อมด้วยผู้ใหญ่บ้านพังพวยพาไปดูทำนบบ้านพังพวย บ้านเกา มูลนบหลวง ที่บ้านถนนหัก เวลา ๕ ก.ท. ออกจากบ้านตากแดด ถึงที่ว่าการอำเภอนางรอง เวลา ๑,๓๐ ก.ท. ได้ไปดูระเบียบการตลาดที่ว่าการอำเภอนางรองแล้วได้ชี้แจงถึงวิธีทำรายงานส่วนแผนกเกษตรต่อเจ้าน่าที่อำเภอ

วันที่ ๒๐ มีนาคม พ.ศ.๒๔๖๐ เวลา ๗ ก.ท. ออกเดินทางจากที่พักที่ว่าการอำเภอนางรองถึงบ้านตาเปก เวลา ๒ ก.ท.ได้ไปดูทำนบบ้านหวาน เวลา ๓,๓๐ ก.ท. ออกเดินทางจากบ้านตาเปกถึงบ้านยาง

- 2460年3月16日午前10時，牛車2台にてブリラムの宿舎を出発．午後5時にノンボーン村に到着，宿営．
- 2460年3月17日午前6時ノンボーン村を出発，午後6時にチャムニ村に到着，宿営
- 2460年3月18日午前7時チャムニ村の村長とともにチャムニ村のナンロン川に建設されている堰の視察に出た．

タイの歴史資料（3）公文書

視察報告書



๕) วันที่ ๑๐/๒/๒๔๖๑ เวลา ๕.๔๕ ก.ท.ยกออกจากบ้านหลังกรามถึงโคกเพ็ด(กลางโคก) วันนี้เดินทางไม่พบหมู่บ้านเป็นแต่โคกทั้งนั้นเวลา ๙ ก.ท.หยุดพัก

๖) วันที่ ๑๑/๒/๒๔๖๑ เวลา ๕.๓๐ ก.ท.ยกออกจากโคกเพ็ดถึงอำเภอบัวใหญ่เวลา ๗ ก.ท. ได้ไปที่ว่าการอำเภอไม่พบนายอำเภอ นายสิงห์ปลัดอำเภอชี้แจงว่าไปตรวจราชการ ข้าพเจ้าได้ถามถึงการที่จะปิดทำนบที่ลำปลาเหนือ ตำบลเมืองกงกับเรื่องให้แนะนำราษฎรปลูกต้นละหุ่งกับต้นสะเดาเพื่อเก็บเมล็ดขายจะได้เป็นประโยชน์ของราษฎรต่อไปนั้น

- 5) 2460/2/10 午前5.45　ポンソンクラーム村を出てペット丘（丘陵中央）に至る．本日の行程は丘陵部ばかりで村には出会わなかった．夕方4時宿営
- 2460/2/11午前4.30　ペット丘を出発して午後3時ブアヤイ郡に到着．郡庁へ赴く．副郡長シン氏によれば郡庁は公務調査に出ているとのこと．私はムアン区のプラーマイ川に堰を建設する場所について・・・

タイの暦

タイで用いられてきた暦

- 大暦มหาศักราช (ม.ศ.)
  - インドのクシャーナ王朝（西暦1～3世紀ごろ）の暦
  - 東南アジアでもサンスクリット語碑文などで使用
- チュラ暦（小暦・ビルマ暦）จุลศักราช (จ.ศ.)
  - ビルマ，ランナー王朝（1292－1775）からラッタナコーシン王朝
- 法律暦ศักราชจุฬามณี (ศักราชกฎหมาย)
  - 過去の法律文書で使用
- ラッタナコーシン暦รัตนโกสินทร์ศก(ร.ศ.)
  - ラッタナコーシン王朝の一時期使用
- 仏暦พุทธศักราช (พ.ศ.)
  - ラッタナコーシン暦廃止後，現在に至るまで使用
  - 公式文書から日常生活に至るまで使用されており，西暦よりもなじみが深い

タイの暦

小暦

- 西暦から648年（仏暦から1181）差し引く
- 太陰暦による年月日
- 基本的に12の月
  - 閏月がある（第8月が2回）
- 第5月上弦1日が元日
  - 概ね太陽暦4月上旬⇒ソンクラーン
- 西暦1889年にラッタナコーシン暦へと改暦

太陰暦の暦日計算

- ในปีทางจันทรคติ จะมี 12 เดือน ได้แก่ เดือนอ้าย เดือนยี่ เดือนสาม เดือนสี่ เดือนห้า เดือนหก เดือนเจ็ด เดือนแปด เดือนเก้า เดือนสิบ เดือนสิบเอ็ด เดือนสิบสอง โดยเดือนคู่จะมี 30 วัน คือวันขึ้น 1 ค่ำ ถึง วันขึ้น 15 ค่ำ และวันแรม 1 ค่ำ ถึง วันแรม 15 ค่ำ ส่วนเดือนคี่มี 29 วัน คือวันขึ้น 1 ค่ำ ถึง วันขึ้น 15 ค่ำ และวันแรม 1 ค่ำ ถึง วันแรม 14 ค่ำ นอกจากนี้ยังมีบางปีที่มีวันแรม 15 ค่ำ เดือน 7 เรียกว่าอธิกวาร โดยจะมีในปีที่ 6, 12, 17, 22, 28, 33 และ 38 ทั้งนี้ เพื่อให้เดือนแต่ละเดือนมีค่าเฉลี่ยของวันในเดือนเข้าใกล้ 29.530588 วันมากที่สุด

http://th.wikipedia.org/wiki/ปฏิทินจันทรคติ

タイの暦

ラッタナコーシン暦

- 太陽暦の採用に伴う
- 月の呼び名として序数ではなく黄道十二星座を採用
  - 4月：牡羊座
- 4月1日を元日とする.
- 元年はラッタナコーシン王朝成立年（西暦1781年）
  - つまり実際に存在したのは108年から
- 131年牡羊座月1日より仏暦へと変更

タイの暦

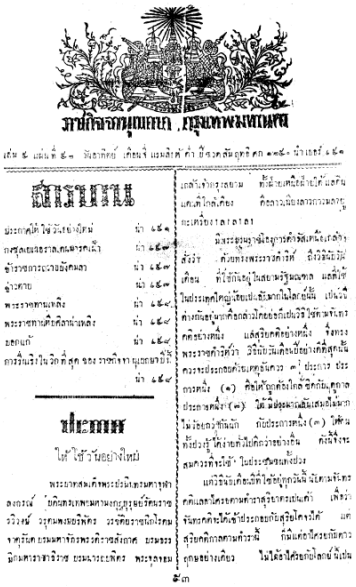
現在の暦

- 仏暦が最も一般的
  - 公務員を含め一般人は西暦になじみがない
- 太陽暦が一般的
- 旧来の陰暦も行事の際に用いられる.
  - 満月・半月・新月は仏日
  - 歌などに名残

วันเพ็ญเดือนสิบสอง น้ำนองเต็มตลิ่ง
เราทั้งหลายชายหญิง
สนุกกันจริง วันลอยกระทง

改暦に関する文書（1）

新暦日使用に関する布告



小暦1250年第4月下弦15日付官報（5巻53号）
西暦1889（仏暦2432）年12月31日

- タイ（サヤーム）は陰暦，世界の大小の国々は太陽暦を使用
- 望ましい暦
  - 季節と一致していること
  - 一定であること
  - 分かりやすいこと
- 太陽暦に従い，通常年を365日，うるう年を366日とする.
- バンコクに王朝がおかれた年を元年とするラッタナコーシン暦を使用する.
- 12星座の名を冠した12の月を使用する.
- 小暦1250年第5月上弦1日2曜をラッタナコーシン暦108年牡羊座月1日とする.

改暦に関する文書（2）

太陽暦使用に関する布告

เล่ม ๒๘ น่า ๕๐๑ ราชกิจจานุเบกษา วันที่ ๓ มีนาคม ๑๓๐

ประกาศใช้บอกศักราชตามสุริยคติ

พระยาวิสุทธสุริยศักดิ์ ผู้รั้งตำแหน่งเสนาบดีกระทรวงธรรมการ รับพระบรมราชโองการเหนือเกล้า ฯ ดำรัสสั่งว่า สมเด็จพระเจ้าบรมวงษ์เธอกรมพระยาวชิรญาณวโรรส ถวายพระพรทูลว่า การบอกศักราชนั้นแต่เดิมก็เปนบอกวันตามที่ใช้กันอยู่ในสมัย มาบัดนี้ ในราชการใช้นับเวลาตามสุริยคติแล้ว แต่การบอกศักราชนั้นยังเปนไปตามแบบเดิมหาสมแก่สมัยไม่ ทรงเห็นควรจะแก้แบบบอกศักราชให้เปนไปตามสุริยคติ จัดระเบียบใหม่ให้เข้ากัน เมื่อจะใช้อย่างนี้จำจะต้องกำหนดวันขึ้นพุทธศักราชใหม่ยิงวันสุริยคติ จะยิงวันวิศาขบุรณมีเหมือนอย่างเดิมไม่ได้ ทรงเห็นควรกำหนดเอาวันที่ ๑ เมษายน เปนวันขึ้นพุทธศักราชใหม่ เพื่อจะได้เข้ากับจารีตของบ้านเมือง อันจะตั้งหลักใช้สุริยคติกาลเช่นนี้ ทรงเห็นไม่ผิดต่อการพระศาสนา เห็นว่าฝ่ายพระศาสนายอมใช้นับเวลาตามจารีตของบ้านเมือง แต่ในครั้งนั้นจารีตของบ้านเมืองใช้จันทรคติกาล ในฝ่ายพระสงฆ์จึงได้ใช้ตามทรงชักเรื่องในวัสสูปนายิกขันธกะคัมภีร์ มหาวรรคมาสำรอง เรื่องนั้นว่าครั้งหนึ่ง พระเจ้าพิมพิสาร ครัสใช้ราชบุรุษไปกราบทูลสมเด็จพระพุทธเจ้าด้วยเรื่องจะเลื่อนฤดูฝนคือทศอธิกมาสท้ายฤดูร้อน ขอให้ภิกษุสงฆ์เลื่อนวัน เข้าพรรษาออกไปอีกชั่วศุกรปักษ์นำคือเดือนหนึ่ง สมเด็จ

130年うお座月3日付官報28号
（西暦1912年3月3日）

- 公務では時間の呼び名にはすでに太陽暦が使用されているが，年はいまだ旧来の暦に従って呼び交わされている．
- 太陽暦は仏教に反するものではない．
- 国の伝統に沿うように牡羊座1日を仏暦元日に定める．
- 仏暦元年をブッダが涅槃に入った年とする．これにより太陽暦を仏の教えと融合させることができる．

ラッタナコーシン暦が浸透しなかったことが行間から読み取れる．

改暦に関する文書（2）

やぎ座月1日を元日とする布告

วันที่ ๑ มกราคม ๒๔๘๔ ราชกิจจานุเบกษา เล่ม ๕๘ หน้า ๓๑

ประกาศ
ให้ใช้วันที่ ๑ มกราคม เป็นวันขึ้นปีใหม่

ในพระปรมาภิไธยสมเด็จพระเจ้าอยู่หัวอานันทมหิดล
คณะผู้สำเร็จราชการแทนพระองค์
(ตามประกาศประธานสภาผู้แทนราษฎร
ลงวันที่ ๔ สิงหาคม พุทธศักราช ๒๔๘๐)
อาทิตย์ทิพอาภา
พล.อ. พิชเยนทร ไชยชิน

โดยที่จารีตประเพณีของไทยแต่โบราณมา ได้ถือวันแรม ๑ ค่ำเดือนอ้ายเป็นวันขึ้นปีใหม่ เป็นการสอดคล้องต้องกับคติแห่งพระพุทธศาสนา ซึ่งถือฤดูเหมันต์เป็นการเริ่มต้นปี ต่อมาจารีตอันนี้ได้เปลี่ยนแปลงไปตามคติพราหมณ์ ซึ่งใช้วันขึ้น ๑ ค่ำเดือนห้า เป็นวันขึ้นปีใหม่ ครั้นภายหลังเมื่อ

2484年やぎ座月1日付官報58巻
（2480年しし座（8）月4日付国会議長公示より）

- タイの伝統習俗では古より第1月（เดือนอ้าย）下弦1日を元日としてきた．これは仏の教えに沿うものである．
- 時代が下ってバラモン教の影響により第5月上弦1日を元日とするようになった．
- 役所が太陽暦を使用するようになり，2432年に牡羊座月1日を元日とするようになった．
- しかし諸国では国の大小を問わずやぎ座（1）月1日を元日としている．
- 国王は王族，僧伽，国民にやぎ座月1日を元日とするよう命じた．
- 2483年やぎ座月1日に新年が始まるものとする．

官報：小暦時代

西暦1887年（小暦1249年）

ใบบอกหัวเมือง

พระยาวิชยาธิบดี ผู้ว่าราชการเมืองจันทบุรีมีใบบอกมาว่า วัน ๗ เดือน ๒ แรม ๒ ค่ำ ปีกุนนพศก เวลา ๒ ยามเกิดเพลิงไหม้บ้านเรือนราษฎรที่ตลาดบางกะจะแขวงเมืองจันทบุรี จำนวนบ้านเรือนที่ไหม้ ๑๕ หลัง ราษฎรเสียชีวิตเพราะเพลิง ๒ คน

亥年9年第2月下弦2日第7曜（土曜）夜2時（1887年12月31日21～24時）チャンタブリ市カチャ市場の住宅で火災が発生．2棟が焼けて市民2名が焼死した

2430年4号333ページ

官報：ラッタナコーシン暦時代

西暦1911年

วันที่ ๒ เมษายน ๑๓๐ ราชกิจจานุเบกษา เล่ม ๒๘ น่า ๑

ประกาศลดอัตราชั้นที่นา

ในตำบลโนนทอง ท้องที่อำเภอจัตุรัส

แขวงเมืองไชยภูมิ ลงเปนนาชั้นเบญจะ

พระเจ้าบรมวงษ์เธอ กรมหลวงดำรงราชานุภาพ เสนาบดีกระทรวงมหาดไทย รับพระบรมราชโองการใส่เกล้า ฯ ทรงพระกรุณาโปรดเกล้า ฯ จึงทรงพระกรุณาโปรดเกล้า ฯ ให้ลดอัตราชั้นที่นาในตำบลโนนทอง ลงเปนนาชั้นเบญจะ ตั้งแต่ศก ๑๒๙ เปนต้นไป

ศาลาว่าการมหาดไทย

ประกาศมา ณวันที่ ๒๗ มีนาคม รัตนโกสินทรศก ๑๒๙

(ลงพระนาม) ดำรงราชานุภาพ

เสนาบดีกระทรวงมหาดไทย

130年牡羊座月2日

田地税率公告

ムアンチャイヤープーム区ジャトゥラット郡管内ノントーン地区を5等級とする

内務省長官ダムロン親王殿下は勅令を受けた・・・・

（中略）

したがって殿下は129年以降ノントンラン地区の水田を5等級とし，税率を引き下げさせた．

129年うお座月29日付公告

暦日変換表 http://horoscope.thaiorc.com/calendar/thaicalendar.php

ปฏิทินจันทรคติไทย ปีมะเมีย (เมษายน 2557 - มีนาคม 2558)

ฉศก ปกติมาส อธิกวาร ปกติสุรทิน
พุทธศักราช (พ.ศ.) 2557 คริสตศักราช (ค.ศ.) 2014 มหาศักราช (ม.ศ.) 1935 จุลศักราช (จ.ศ.) 1376 รัตนโกสินทรศก (ร.ศ.) 233

ปฏิทินปีก่อนหน้า ปฏิทินปีถัดไป

วาร (วัน)	ธงชัย 1 อาทิตยวาร (วันอาทิตย์)	อธิบดี 2 จันทรวาร (วันจันทร์)	อุบาทว์ 7 โสรวาร (วันเสาร์)	โลกาวินาศ 4 วุธวาร (วันพุธ)	ยาม (เวลา)	ธงชัย 3 (09.01น. - 10.30น. 21.01น. - 22.30น.)	อธิบดี 4 (10.31น. - 12.00น. 22.31น. - 24.00น.)	อุบาทว์ 2 (07.31น. - 09.00น. 19.31น. - 21.00น.)	โลกาวินาศ 8 (16.31น. - 18.00น. 04.31น. - 06.00น.)

วันที่	เมษายน 2557			พฤษภาคม 2557			มิถุนายน 2557			กรกฎาคม 2557			สิงหาคม 2557			กันยายน 2557		
	ว	ข-ร	ฤ	ว	ข-ร	ฤ	ว	ข-ร	ฤ	ว	ข-ร	ฤ	ว	ข-ร	ฤ	ว	ข-ร	ฤ
1	3	ข 2	5	5	ข 3	6	1	ข 4	7	3	ข 4	8	6	ข 5	9	2	ข 7	10
2	4	ข 3	5	6	ข 4	6	2	ข 5	7	4	ข 5	8	7	ข 6	9	3	ข 8	10
3	5	ข 4	5	7	ข 5	6	3	ข 6	7	5	ข 6	8	1	ข 7	9	4	ข 9	10
4	6	ข 5	5	1	ข 6	6	4	ข 7	7	6	ข 7	8	2	ข 8	9	5	ข 10	10
5	7	ข 6	5	2	ข 7	6	5	ข 8	7	7	ข 8	8	3	ข 9	9	6	ข 11	10
6	1	ข 7	5	3	ข 8	6	6	ข 9	7	1	ข 9	8	4	ข 10	9	7	ข 12	10
7	2	ข 8	5	4	ข 9	6	7	ข 10	7	2	ข 10	8	5	ข 11	9	1	ข 13	10
8	3	ข 9	5	5	ข 10	6	1	ข 11	7	3	ข 11	8	6	ข 12	9	2	ข 14	10
9	4	ข 10	5	6	ข 11	6	2	ข 12	7	4	ข 12	8	7	ข 13	9	3	ข 15	10
10	5	ข 11	5	7	ข 12	6	3	ข 13	7	5	ข 13	8	1	ข 14	9	4	ร 1	10
11	6	ข 12	5	1	ข 13	6	4	ข 14	7	6	ข 14	8	2	ข 15	9	5	ร 2	10
12	7	ข 13	5	2	ข 14	6	5	ข 15	7	7	ข 15	8	3	ร 1	9	6	ร 3	10
13	1	ข 14	5	3	ข 15	6	6	ร 1	7	1	ร 1	8	4	ร 2	9	7	ร 4	10
14	2	ข 15	5	4	ร 1	6	7	ร 2	7	2	ร 2	8	5	ร 3	9	1	ร 5	10
15	3	ร 1	5	5	ร 2	6	1	ร 3	7	3	ร 3	8	6	ร 4	9	2	ร 6	10
16	4	ร 2	5	6	ร 3	6	2	ร 4	7	4	ร 4	8	7	ร 5	9	3	ร 7	10
17	5	ร 3	5	7	ร 4	6	3	ร 5	7	5	ร 5	8	1	ร 6	9	4	ร 8	10
18	6	ร 4	5	1	ร 5	6	4	ร 6	7	6	ร 6	8	2	ร 7	9	5	ร 9	10
19	7	ร 5	5	2	ร 6	6	5	ร 7	7	7	ร 7	8	3	ร 8	9	6	ร 10	10
20	1	ร 6	5	3	ร 7	6	6	ร 8	7	1	ร 8	8	4	ร 9	9	7	ร 11	10
21	2	ร 7	5	4	ร 8	6	7	ร 9	7	2	ร 9	8	5	ร 10	9	1	ร 12	10
22	3	ร 8	5	5	ร 9	6	1	ร 10	7	3	ร 10	8	6	ร 11	9	2	ร 13	10
23	4	ร 9	5	6	ร 10	6	2	ร 11	7	4	ร 11	8	7	ร 12	9	3	ร 14	10
24	5	ร 10	5	7	ร 11	6	3	ร 12	7	5	ร 12	8	1	ร 13	9	4	ร 15	10
25	6	ร 11	5	1	ร 12	6	4	ร 13	7	6	ร 13	8	2	ร 14	9	5	ข 1	11
26	7	ร 12	5	2	ร 13	6	5	ร 14	7	7	ร 14	8	3	ข 1	10	6	ข 2	11
27	1	ร 13	5	3	ร 14	6	6	ร 15	7	1	ร 15	8	4	ข 2	10	7	ข 3	11
28	2	ร 14	5	4	ร 15	6	7	ข 1	8	2	ข 1	9	5	ข 3	10	1	ข 4	11
29	3	ข 1	6	5	ข 1	7	1	ข 2	8	3	ข 2	9	6	ข 4	10	2	ข 5	11
30	4	ข 2	6	6	ข 2	7	2	ข 3	8	4	ข 3	9	7	ข 5	10	3	ข 6	11

วันที่	ตุลาคม 2557			พฤศจิกายน 2557			ธันวาคม 2557			มกราคม 2558			กุมภาพันธ์ 2558			มีนาคม 2558		
	ว	ข-ร	ฤ	ว	ข-ร	ฤ	ว	ข-ร	ฤ	ว	ข-ร	ฤ	ว	ข-ร	ฤ	ว	ข-ร	ฤ
1	4	ข 7	11	7	ข 9	12	2	ข 9	1	5	ข 11	2	1	ข 12	3	1	ข 11	4
2	5	ข 8	11	1	ข 10	12	3	ข 10	1	6	ข 12	2	2	ข 13	3	2	ข 12	4
3	6	ข 9	11	2	ข 11	12	4	ข 11	1	7	ข 13	2	3	ข 14	3	3	ข 13	4
4	7	ข 10	11	3	ข 12	12	5	ข 12	1	1	ข 14	2	4	ข 15	3	4	ข 14	4
5	1	ข 11	11	4	ข 13	12	6	ข 13	1	2	ข 15	2	5	ร 1	3	5	ข 15	4
6	2	ข 12	11	5	ข 14	12	7	ข 14	1	3	ร 1	2	6	ร 2	3	6	ร 1	4
7	3	ข 13	11	6	ข 15	12	1	ข 15	1	4	ร 2	2	7	ร 3	3	7	ร 2	4
8	4	ข 14	11	7	ร 1	12	2	ร 1	1	5	ร 3	2	1	ร 4	3	1	ร 3	4
9	5	ข 15	11	1	ร 2	12	3	ร 2	1	6	ร 4	2	2	ร 5	3	2	ร 4	4
10	6	ร 1	11	2	ร 3	12	4	ร 3	1	7	ร 5	2	3	ร 6	3	3	ร 5	4
11	7	ร 2	11	3	ร 4	12	5	ร 4	1	1	ร 6	2	4	ร 7	3	4	ร 6	4
12	1	ร 3	11	4	ร 5	12	6	ร 5	1	2	ร 7	2	5	ร 8	3	5	ร 7	4
13	2	ร 4	11	5	ร 6	12	7	ร 6	1	3	ร 8	2	6	ร 9	3	6	ร 8	4
14	3	ร 5	11	6	ร 7	12	1	ร 7	1	4	ร 9	2	7	ร 10	3	7	ร 9	4
15	4	ร 6	11	7	ร 8	12	2	ร 8	1	5	ร 10	2	1	ร 11	3	1	ร 10	4
16	5	ร 7	11	1	ร 9	12	3	ร 9	1	6	ร 11	2	2	ร 12	3	2	ร 11	4
17	6	ร 8	11	2	ร 10	12	4	ร 10	1	7	ร 12	2	3	ร 13	3	3	ร 12	4
18	7	ร 9	11	3	ร 11	12	5	ร 11	1	1	ร 13	2	4	ร 14	3	4	ร 13	4
19	1	ร 10	11	4	ร 12	12	6	ร 12	1	2	ร 14	2	5	ข 1	4	5	ร 14	4
20	2	ร 11	11	5	ร 13	12	7	ร 13	1	3	ร 15	2	6	ข 2	4	6	ร 15	4
21	3	ร 12	11	6	ร 14	12	1	ร 14	1	4	ข 1	3	7	ข 3	4	7	ข 1	5
22	4	ร 13	11	7	ร 15	12	2	ข 1	2	5	ข 2	3	1	ข 4	4	1	ข 2	5
23	5	ร 14	11	1	ข 1	1	3	ข 2	2	6	ข 3	3	2	ข 5	4	2	ข 3	5
24	6	ข 1	12	2	ข 2	1	4	ข 3	2	7	ข 4	3	3	ข 6	4	3	ข 4	5
25	7	ข 2	12	3	ข 3	1	5	ข 4	2	1	ข 5	3	4	ข 7	4	4	ข 5	5
26	1	ข 3	12	4	ข 4	1	6	ข 5	2	2	ข 6	3	5	ข 8	4	5	ข 6	5
27	2	ข 4	12	5	ข 5	1	7	ข 6	2	3	ข 7	3	6	ข 9	4	6	ข 7	5
28	3	ข 5	12	6	ข 6	1	1	ข 7	2	4	ข 8	3	7	ข 10	4	7	ข 8	5
29	4	ข 6	12	7	ข 7	1	2	ข 8	2	5	ข 9	3				1	ข 9	5
30	5	ข 7	12	1	ข 8	1	3	ข 9	2	6	ข 10	3				2	ข 10	5

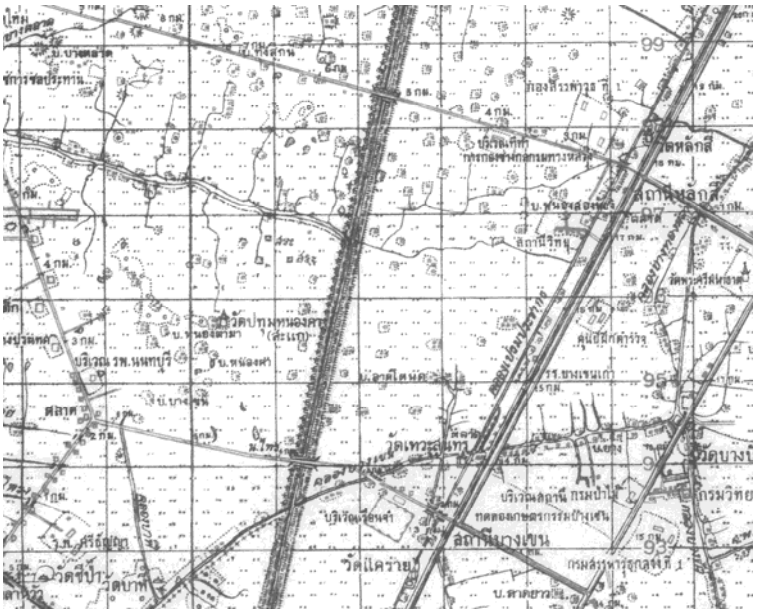
タイの地名を巡る状況

タイの地名を巡る状況

- 階層構造
  - 県・郡・区・村・村落番号・住居番号
  - 県・郡・テーサバーン
  - 都・大区・小区
- 地点主義
  - 行政境界は区まで
- 新しい地名が多い
  - 人口希薄社会
- 村落名などが時として変わる
  - 転訛
  - 縁起が悪い，聞こえが悪い
- 大縮尺地形図の整備は20世紀に入ってから.
- 全国を網羅する大縮尺地形図は1954年以降
- 村名一覧は内務省が整備

タイの地名を巡る状況

1912年当時のバーンケーン（バンコク北部）



タイの地名を巡る状況

新聞報道に出る地名

- 田舎：（家番号），村落番号，村，区，郡，（県）
- 都市：
  - 路地，小区
  - 交差点
  - 有名な地物（時には有名でなくとも！）

タイの地名を巡る状況

新聞報道の実例：2011年洪水時のバンコク洪水状況

น้ำท่วม ม.เกษตรฯ บางเขน บางพื้นที่เกือบถึงหัวเข่า จ่อหน้าร.พ.วิภาฯแล้ว

วันที่ 31 ตุลาคม พ.ศ. 2554 เวลา 07:08:25 น.

- รายงานข่าวแจ้งว่า เมื่อคืนที่ผ่านมา มวลน้ำได้ไหลเข้าท่วมภายในมหาวิทยาลัยเกษตรศาสตร์ค่อนข้างมาก ล่าสุดเช้านี้บริเวณฝั่งตึกอาคารสารนิเทศน์ 50 ปี ถูกน้ำไหลเอ่อเข้าท่วมสูงประมาณ 30เซนติเมตร บางพื้นที่เกือบถึงระดับเข่าแล้ว นอกจากนี้บริเวณหน้า ม.เกษตรศาสตร์ ฝั่งถนนพหลโยธิน น้ำเริ่มไหลเข้าใกล้สี่แยกเกษตร ซึ่งมีอุโมงค์ลอดใต้ทางแยกด้วย
-
- ในส่วนของถนนวิภาวดีฯขาเข้า มีน้ำจากคลองบางเขน ไหลเข้าถนนตั้งแต่โรงงานยาคูลล์-รพ.วิภาวดี รถเล็กผ่านไม่ได้
-
- ส่วนทางด้านบริเวณแยกพงษ์เพชร ถนนงามวงศ์วานว่า น้ำจากคลองประปาได้ไหลเข้าท่วมบริเวณสี่แยกพงษ์เพชร ถนนงามวงศ์วาน รวมทั้งหมู่บ้านในซอยชินเขต ทำให้การประปาฯต้องเจาะพนังกั้นน้ำเพื่อระบายให้น้ำไหลลงคลองบางเขน

タイの大縮尺地形図

- 20世紀前半
  - Datum: 不明．おそらくIndian Thailand
- L708
  - Datum: Indian Thailand
  - UTMグリッド有
- L7017
  - Datum: Indian Thailand
  - UTMグリッド有/なし
- L7018
  - Datum: WGS84
  - UTMグリッド有/なし
  - 軍地図局で販売
- その他，バンコク市街図については民間から電子地図が販売されている．

外邦図

- 1/5万
- タイ國1/20万
  - 1917～1935年タイ國地理局調製
- 1/25万分圖タイ國
  - 1924，1941年調製ヲ複製

地名情報

- Wikimapia
- ESRI Thailandが膨大なデータを蓄積している可能性.
  - Garminと共同
  - カーナビを販売

http://wikimapia.org/22318943/

参考文献

- 石井米雄 (1964)タイ語文献について(1) : Nangsu Chaek nai Kan Kuson，東南アジア研究, 1(4): 2-12
- 石井米雄 (1964)タイ語文献について(2) : Phraratcha Phongsawadan Krung Kao，東南アジア研究, 2(1): 13-24
- 石井米雄 (1964)タイ語文献について (3) :Phraratcha Phongsawadan Krung Ratanakosin，東南アジア研究, 2(2): 67-80
- 石井米雄 (1965)タイ語文献について(4) : 諸地方のPhongsawadan，東南アジア研究, 2(4): 38-51

H-GIS 研究会 地域の「時空間の知」（2014 年 1 月 18 日開催）
報告書

発行　2014 年 3 月 22 日
京都大学地域研究統合情報センター　地域情報学プロジェクト
個別ユニット「地域に関する時空間基盤情報の収集・蓄積」
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46

印刷　大光社
〒604-0086 京都市中京区小川通丸太町下ル中之町 76

© 2014 H-GIS 研究会　Printed in Japan
※図表の転用・転載を禁止します